

ファーストコンタクト8

アセンションした地球の危機



アセンション前夜の攻防 目次

- 資料 宇宙連合の組織について
- 第1章 「混乱の宇宙を作った創造主」の罟
- 第2章 「略奪の宇宙」と光59%の世界の未来
- 第3章 感情に飲み込まれてしまった創造主
- 第4章 生まれてくる子供の生命が危ない！
- 第5章 無機質の宇宙の創造主が仕掛けた罟
- 第6章 隠されていた創造主達の野望
- 第7章 新たなアセンションに向けて
- 付録 光の世界の区分

作者 瀬戸武志 & 宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

○各評議会の創造主とスターピープルの一覧

	創造主と評議会の役割	アセンションを妨害する創造主のたくらみ	
第15評議会	物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンション計画の創始者 私達を地球に降ろした創造主。		
第13評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。	5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主により意識をコントロールされ「すべての創造主を指導する創造主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。	
第12評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。	第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。	
第11評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者	「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。	
第10評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者	第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。	
	創造主と評議会の役割	スターピープル	自己中心的な創造主が生まれた原因
第9評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	「リセットの創造主」が、創造主の学びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れる。
第8評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 私や美樹さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失われ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。
第7評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全てを見守る創造主」がリーダー	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	上の評議会から闇を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での闇の創造主の大元となる。
第6評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。	非常に能力が高いスターピープル達が他のスター	「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に闇のエネルギーを流

	「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー	ピープル達を指導。	すが、本当の理由は宇宙の支配。
第5評議会	第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	第4評議会の創造主達から騙されて闇に落ちた「暁の光の創造主」が下部の創造主の光を奪う。
第4評議会	1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇宙にはあまり関わらない。	創造主達が宇宙を創造するために必要なエネルギーや技術を提供するための特別な能力を持つスターピープル達が存在している。	「光を生みだす創造主」と「力を生みだす創造主」が対立していたが共に闇の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を闇の創造主に仕立てあげていった。
第3評議会	「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり闇落ちた創造主を放置する。	第10アセンション以上のスターピープル達。グルナレッドやミス星人等。宇宙のエネルギーの適正化を行ったり、宇宙の健全な運営を担うための働きをする。	「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が闇の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、闇の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。
第2評議会	「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起きた時はその解決にあたる。	第5アセンションから第10アセンションのスターピープル達。ロッド星人やエリシタールなどが属し、第1評議会のスターピープルを助けて、叡智ある存在の成長を手伝う。	第3評議会の闇のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も闇のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が闇に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキック・アタックを行なった。
第1評議会	「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。	第1アセンションから第5アセンションまでのスターピープル達。アシュタール連合や様々な星のスターピープルによって構成され、宇宙の平和と成長を守り各星の人々の意識進化を手助けする。	上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわることになった。
物理的宇宙	宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。	スターピープルとダークピープルが存在。アセンション前の存在達は宇宙連合には入れない。	闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。

私は、本当は前回のレポートまでで皆さんにアセンションに関する情報や私達の活動をお知らせすることを止めようと思っていたのですが、この2か月ほど大きな動きがあり、光の地球へとやがて入って行く人達には知っててもらいたい事がたくさん出てきました。

今までアセンションレポートを読み続けてきた人達にとっても、もうすでに想像をはるか超えた世界になってきていると思いますが、私自身の記録のつもりで書いていきますので、ご興味があれば、お読みください。

まず本編を始める前に、これから私達は宇宙連合と共に活動していく事になりますので、スターピープル達や創造主、宇宙連合の仕組みを皆さんにご紹介するところから始めたいと思います。

【スターピープル】

私達は、地球に住む地球人ですが、地球以外の星から来て地球に関わる地球外生命体達もたくさん存在しています。

彼等は、目的によって2つのグループに分かれます。

それは、地球人を成長させるために、人々をより良い方向へ導く善良な地球外生命体達（スターピープル）と地球を支配し地球人を自分たちの思いのままに利用したいと考えている狡猾な地球外生命体達（ダークピープル）です。

良心的な地球外生命体達であるスターピープルは、天の川銀河の中でも、地球よりも早くアセンションを行い、宇宙のために活動している星々の人達の事です。

主にアンドロメダ座、シリウス、アルクツールス、プレアディス星団の人々が、現在地球に関わっていますが、全て宇宙連合に属し、宇宙連合の計画と指示のもとに行動しています。

そして、各星固有のスターピープルとは別に、高度な叡智を持つ星々のメンバー達が集まって作られたアシュタールや銀河連合といったグループも存在しています。

彼等は常に、宇宙の進化のために下記のようにいくつかの役割を持って活動しています。

- 1、創造主をサポートして、宇宙を創造し運営する仕事。
- 2、創造された星々や星に住む種族が侵略されたり破壊的な状態になる事を防ぎ平和に保つ事。
- 3、未だ十分に意識進化していない人々を導き成長させる事。
- 4、ある程度の意識進化の段階になった人々をアセンションさせ、スターピープルに進化させる事。

彼等は、愛の度数や意識状態が高まるごとにアセンションを行ってさらに愛や叡智が高い状態へと移り変わっていきます。

アセンションが進むと、スターピープル達は物理的な体から半物理的な体に移り変わり、第6アセンションを超えるころには、ほとんどのスターピープルが物理的な体を失ってスピリット体へと変わっていきます。

宇宙連合でも肉体を持つスターピープルの多くが、第1評議会に属し、地球のように物理的な肉体を持つ種族や物理的な世界を持つ星々に直接関わるすることができます。

しかしアセンションが進み、完全に肉体を失うと特別な種族を除いて物理的な種族や世界に関わることができ

なくなりますので、宇宙の中でも他の役割を担う事になります。

それは、第1評議会や第2評議会のスターピープルのサポートや教育を行ったり、宇宙の平和を観察したりすることです。

更に成長して第3評議会～第5評議会のスターピープルになると、創造主と共に宇宙の創造を手助けする仕事を行うようになります。

それでは次に、どのようにして、通常生命体がスターピープルへと成長していくか説明しましょう。

スターピープルへの第1歩は、もともとその星に存在している生命体の中でも、これから叡智を持つ可能性があると思われる種族に、優秀なスターピープル達の遺伝子を組み込んで成長させることです。

地球では、そのために選ばれたのが、類人猿と呼ばれる種族だったようです。

彼等は、意識が成長してくると村社会を作り、社会性や自我意識に目覚めてきます。

そして次の意識進化のための遺伝子操作を受けるまでに成長していきます。

やがて彼等は、長い期間をかけてスターピープル達から教育を受け、様々な技術や文化的な側面を成長させて文明を形成していきます。

スターピープル達は、彼等の社会にあまり介入することなく、さまざまな機械技術や宇宙工学などが発展するように、彼らの能力を高めていきます。

また、様々な技術のアイデアを、夢などを通して、人々に与え成長の手助けをします。

これもスターピープルになるためのトレーニングのひとつです。

そして人々が、ある一定の意識と愛の水準になったら、その星の種族にアセンションをおこして、大きな意識進化をもたらします。

最初のアセンションを通してもたらされる進化とは、自分達の星以外にも素晴らしい叡智を持っている人々（スターピープル）が存在し、それらの人々が宇宙の進化と平和のために貢献していることを知る事です。

そのために、スターピープル達が人々の前に現われ彼等を直接指導することが起こります。

私達地球人は、現在、この第1アセンションを迎える時期となっています。

アセンションを通して目覚めてきた人々は、スターピープル達と共に活動を始め、宇宙に貢献できるようになります。

そしてその貢献が認められると、やがてスターピープルの一員となり宇宙連合へと加入することになります。宇宙連合へは、第1アセンションを行うと加入できますが、この時期はスターピープル見習いとして、先輩のスターピープルと共に活動します。

やがて第1アセンションを終えた人々が更なる成長を遂げると、愛の度数も高まり第2アセンションを迎えることができるようになります。

第1アセンションを迎えるためには、自分達の種族や叡智あるスターピープル達を愛し尊敬する事を学びますが、第2アセンションを迎える為には、自分達の種族だけでなく、未だ発達途上の種族も含め、この宇宙に存在する多くの種族たちを平等に愛することができるようにならなくてはなりません。

なぜなら、第2アセンションを成し遂げたスターピープル達は、まだ十分な意識の成長を成し遂げていない種族の人々と単独で関わる事になるからです。

この時に高い愛の意識に達していないと、まだ十分に成長していない種族にたいして、彼等を尊重するのではなく彼等を自分達に服従させたり、自分達のやり方を押し付けたりしてしまい、彼等の意識の成長を妨げてし

まうからです。

第1評議会のスターピープル達は、第6アセンションを達成すると第2評議会へと移りますが、この時はすでに肉体としてではなくスピリット体として働くことになります。

そして、今まで培ってきた経験をもとに第1評議会のスターピープルを指導したり、創造主のお手伝いをするようになります。

【ダークピープル】

スターピープルにたいして、闇のエネルギーに飲み込まれて、自分達の欲望のために活動する種族を、ダークピープルと呼んでいます。

例えば、オリオン星人やアルクツールズ星人のように同じ星の人々でも、進化の過程でアセンションを繰り返してスターピープルになる種族もいれば、ディセンションしてダークピープルになる種族もあります。

ダークピープルになる種族は、闇の創造主によって彼等の部下にされ、未発達な星の人々を、闇の創造主に従属させたり支配するために働かされることが普通です。

彼等自身も本来は純粋な気持ちを持っているのですが、支配欲や攻撃欲などをかきたてられ、愛の心を失っていきます。

すると、彼等はどんどん欲に染まって、自分の意思で人々を攻撃し支配することを好むようになり、ディセンションを繰り返す事となるのです。

ディセンションを繰り返すたびに、ダークピープルは闇の力を身に着け強力なパワーを持って未発達な種族を支配するようになります。

今迄の地球の歴史がそうでした。

争いや奪い合いが繰り返され、人々は人間としての尊厳を失い、殺されたり傷つけたりされてきました。

経済が発展している世界では、多くの人々が一部の裕福な人のための奴隷として無理やり働かされてきました。そして科学技術が発展すると核兵器や原子力発電など人々や地球環境に大きなダメージを与える技術も作られ、地球の破壊へと人類は歩いていくのです。

私達のアセンションへの道のりは、まさにこの地球人を支配してきたダークピープルや彼等を操る闇の創造主との戦いでした。

現在は、今までの地球を、闇が多い地球と光が多い地球に分け、闇が多い地球は今までの地球と同じく闇の創造主やダークピープル達が支配しますが、光が多い地球は、ダークピープルや闇の創造主はすべて排除され、スターピープル達が見守り、アセンションしていく人達を育てるための地球となっていきます。

本来アセンションは、その星にすむ種族達がすべて同じように意識進化していくのですが、この地球に関しては、1人1人の意識が多様化しており、愛の度数も精神の発達具合も全く異なりますので、全ての人が同じようにアセンションすることはできませんでした。

その大きな要因が、このダークピープルとどのように関わっているかという事でした。

同じ日本人でも、他人に優しくして貢献したいと考える人もいれば、他人をだましてもお金を儲けたいと考え

る人もいます。

また、自然災害などで困っている人を助けたいと考える人もいれば、自分の欲望のために他人を傷付けたり利用したりすることを平気で行う人もいます。

それらの事柄がすべてダークピープルのせいであるというわけではありませんが、彼等のエネルギーが大きく関わっていることは確かです。

ダークピープル達は、スターピープル達が地球人に関わる事で、地球人が目覚めアセンションしていく事を大変嫌い、常に私達の妨害をしてきました。

それは、1人でも多くの地球人を欲望の虜にしてディセンションさせ、自分達の支配下に置いて利用していたからです。

人々はその事に気づかず、自分達の欲望のままに生きていくと、争いや支配欲に満ちた世界から抜け出すことができなくなります。

そして、自らもディセンションしてしまうのです。

私達は、地球の人々が1人でも多くアセンションしてスターピープルになれるように、ダークピープル達を処理したり、地球人に大きな影響を与えている闇の創造主達を光に返してきました。

彼等に捕えられている皆さんのスピリットの一部も開放して、地球の人々がスピリットの統合を果たし、自分が本来持っている「愛」のエネルギーに目覚めることができるように努力してきましたが、人々が自ら、自分が持っている愛に気づき、自分のスピリットを受け入れる事ができなければ、その人は何も変わる事はできません。

地球は2016年の末までに大きく分離されていきますので、それまでに光が多い地球へと入って頂き、スターピープルへの道を歩んでいただきたいと思います。

PART 2 創造主の目的と区分について

私のレポートや活動に関するブログを読まれて皆さんが一番困惑するのは「創造主」という概念だと思います。地球では、創造主というのは唯一万能な存在であり、過ちなどを犯すはずはない存在とされています。また愛に満ち、多くの人を慈悲の心で助けてくれる存在だと思われていますし、私もそう思い続けてきました。

しかし、私達はアセンションを進めるにつれて様々な創造主に会いました。

そして分かった事は、創造主は唯一無二の存在ではなく、役目や階級に応じて無数に存在しているのだという事です。

そして全ての創造主が、万能であり過ちを犯すはずがないという考え方は大きく間違えているという事です。

もちろん、私があった創造主の中にもその様な尊敬すべき創造主はいましたが、本当に僅かでした。

創造主の中には、自分の欲望やエゴに負けてしまい、この宇宙を自分が好きなようにしたいと考え、自分の部下にあたる創造主やスターピープル達を利用して、地球人や多くの星の人々を支配しようとする創造主達もたくさんいたのです。

もし、全ての創造主が、愛と慈悲に満ちていたなら、この地球のように戦争や侵略、あるいは殺人や暴力、経

済的な抑圧や自然破壊などは決して起こらなかったでしょう。

創造主自身が暴力と支配を好むからこそ、地球のような闇が深い世界が生まれてきたのです。

ギリシア神話に出てくる最高の神であるゼウス神も自分の欲望の赴くままに、女性達をさらいたくさんの子供を生み落させました。

もちろんこれは神話ですが、ゼウスと同じように自分達が作った宇宙は自分達が自由勝手に扱ってもよいと考える創造主達が、実はたくさん存在しているのです。

ではなぜ、その様な存在が創造主としてこの宇宙に君臨しているかという事をお話ししましょう。

それは簡単な答えです。

創造主から宇宙の創造と運営をするために作られた存在だから創造主なのです。

創造主は肉体を持ちませんので、誰かの体から生まれて成長していくわけではありません。

上位の創造主から目的に応じて、自分の光を分けて作られます。

高次の光には意識や能力が伴いますので、光を分かち与えられて生まれた創造主は、生みだしてくれた創造主の能力と資質の一部を持つ事になります。

その資質と能力を使用して、上位の創造主の指示のもとに宇宙の創造や運営を行い、与えられた任務を果たします。

生みだされた創造主は、自分を生みだしてくれた創造主には絶対に逆らう事はできません。

逆らった場合には、自分の元となった創造主の光のもとに返される事となります。

私の PDF ブックをお読みの方はお分かりかと思いますが、私は、問題がある創造主に対処する場合には、必ずその創造主を生みだした創造主か一つ上の創造主にあらかじめ相談して処理を行なう了承を取り付けます。

そして問題がある創造主を問い詰め、問題がある創造主が自分の罪を認めるか、その創造主を生みだした創造主が、更生の余地がないと認めた場合には、上位の創造主の判断によって、問題を起こした創造主を光に返すことができるのです。

私は、多くの創造主が行ってきたことを調べる為に、地球の物理次元に生まれ、2013年から4年をかけて一つ一つ宇宙の次元を上がり、下の階級の創造主から宇宙を創造する役目を持つ創造主の位置にまでたどり着きました。

そして、1人1人の創造主の働きを見ながら問題がないかを調べてきたのです。

問題がある創造主は、私達の活動や地球のアセンションに対して大きな妨害を働いてきます。

すぐには分からなくても、一緒に行動しているうちに、私達を裏切るような行為をしたり、闇の創造主の命令をうけて私達を罠にかけようとしています。

何故地球人の私が、創造主の世界に入り、創造主の問題を明らかにして創造主を光に返すことができるか不思議でしたが、地球のアセンションが進むにつれて、高次元の創造主が、多くの創造主の墮落にすでに気づいていたために、私を地球に降ろし、創造主が犯している罪を調べ上げる役目を私に与えたという事が分かりました。

地球のアセンションは、地球に住む人々にとっては、自分達の意識を高め、スターピープルになるための第1歩ですが、高次元の創造主にとってみれば、墮落した創造主や闇に落ちた創造主を探し出し、彼等を光に返す事で、まともな創造主だけが残る宇宙を創るための壮大な計画があったようです。

次に創造主のレベルについて大きくご紹介しますが、レベルに関しては、私が簡易的に区分けしたものです。

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主たちです。

第1評議会の中心的な創造主達になります。

リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピューターを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。

この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っていることはもちろんですが、どの次元にも自由に入ることができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

私が創造主の仕事調べる為に地球に降ろされたのは、このレベルの創造主による計画だったようです。

PART 3 宇宙連合について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えてもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけはご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に別れて活動しています。その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。

この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わることができます。

そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにすることが第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議会を指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまったことで、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれることになりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。

この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだけで独自の宇宙を作り出すことができます。

第5評議会から上の評議会は、宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画していることが分かると、他の評議会の創造主やスターピープル達では対応できないので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。

それでは、これらの事を頭に入れた状態で、何故創造主達が闇に落ちていったのか、そして私達が行なっているアセンションはどのような展開を迎えたのか、読み進んでいってください。

第1章 「混乱の宇宙を作った創造主」の畏

PART 1 アセンション元年

多くの創造主に忘却を行っていた「リセットの創造主」の出現によって、創造主達が理性を失い、闇の創造主になっていたことが2016年の12月後半に判明しました。

私達は、「リセットの創造主」が、再び創造主の評議会に戻り、正常な働きを行う事で、これ以上、自己中心的な創造主が生まれることがなくなるのでは、と期待しています。

そして、2016年の最終日を期限とした地球と宇宙のアセンションも、速やかに進行しています。

私達の周りもしばらく穏やかな日々が続き、生まれてくる子供の準備で楽しい日々を過ごしています。

スターピープル達は、地球の物理的な世界に生きる人々の感情のエネルギーの処理を行ないながら、人々がそれぞれの世界に向かい、自分に合った学びと成長を行う事ができるようにサポートを行っています。

2016年の最後の日、私達はスターピープルや創造主と共に、厳かな夜を過ごしていました。

創造主達は、新たな光をこの地球や宇宙に繋ぎ、私達の宇宙を今までの宇宙と分離していきます。

そしてスターピープル達もまだ残っていた分離の仕事を終え、創造主と共に新たな光の世界を作るための祈りの儀式に入ります。

私達の宇宙を荘厳なエネルギーと神聖な光が満たし始めます。

私達は気持ちをひとつにして祈りを捧げ続けていきます。

2017年の新年は素晴らしい快晴が続き、私達は、光59%の世界で、これから人々を導いていくための仕事に入る事になります。

スターピープル達も、それぞれの世界に分かれた人々の感情開放を行っていました。

これは、スピリットが新たな世界に移り変わる事によって、今迄の自分を清算し、その世界に合った人生を生きる為には必要な事ですので、当然行わなければならないことです。

つまり、今までよりも光が強い世界に皆さんは行く事になりますので、皆さんの中にため込んだ怒りや憎しみ、恐怖や悲しみの感情が、皆さんの内側から噴出してあふれ出してきます。

それをスターピープルや大天使たちが一生懸命に浄化しているのですが、全てを浄化することができずに、その一部は地震や火山噴火という形で現れてしまいます。

スターピープル達は、たとえ地震や火山噴火が起きたとしても、なるべく被害が少なくなるように、人があまり住んでいない太平洋などで地震を起こすように、そのエネルギーを誘導しています。

たとえ光59%の世界に来る人であったとしても、人々のため込んでいる感情のエネルギーはとても大きなものです。

それは、今回の人生だけでなく今迄のいくつもの人生の中でため込まれた感情を全て吐き出す必要があるために、これだけの大きなエネルギーになっているようです。

PART 2 地球のコアのエネルギーを奪い取った創造主

1月3日の事、2017年になって地球が分離されにもかかわらず、光59%の世界の様子がおかしいことをロッド星人達が報告してきました。

「TAKESHIさん、私達は現在、人々の感情開放に努めていますが、どうも気になる事があります。それは、私達が今いる世界は光59%の世界なのですが、光が非常に弱いのです。まるで光と闇が半分半分くらいの、今迄の地球とさほど変わらないような光の状況です。その為に人々の感情開放の作業も速やかに行われていないのです。」

私達は、もう光59%の世界しか見る事ができませんが、物理的な地球の中では、まだ他の世界との交流が行なわれていますので、人々の感情やエネルギーの状態がとても不安定なのは仕方がないようです。

しかし、この不安定な地球の状態から見ても、人々の感情エネルギーの噴出だけが原因ではないことは、私も気づいていました。

まだ人々の意識や感情を操ってネガティブなエネルギーを放出させているダークピープルや創造主達がいるような気がするのです。

私達は、地球のエネルギーを調べるために、急いで地球のコアに入りました。

すると、地球のコアの輝きは重苦しいエネルギーによって覆い隠されているのです。

コアを守っていたゴールド・ドラゴンと5エレメントドラゴン達も、どこかに連れ去られているようで姿が見えません。

コアのエネルギーと深くつながっている女神も見当たりません。

「TAKESHIさん、大変なことになっています。

地球のコアがこのようなエネルギーで覆われていたのでは、地球に光が満ち溢れてこないのも当然です。

これは光59%の世界だけでなく、他の世界でも起こっているかもしれませんのですぐに調べさせたいと思います。」

ロッド星人は、そうやって仲間達に連絡を取っています。

私はすぐに、創造主達に来てもらい、このエネルギーを浄化してくれるように頼みました。

第1評議会と第2評議会の創造主が来てくれて、コアを取り囲んでいるエネルギーの浄化に努めましたが、思ったよりもこのエネルギーはパワーが強く浄化が進みません。

その様子を見たロッド星人は、私に言います。

「TAKESHIさん、昨年まではこのようなエネルギーはありませんでした。

このエネルギーがコアを取り囲んだのは2017年になってからの事です。

しかも、これはダークピープルではなくもっと高次元の創造主の仕業だと思われます。」

「という事は、昨年までに処理した創造主の仕業ではないかもしれないという事ですか。

創造主達の中に、地球のアセンションに反対して邪魔をしている創造主が、まだ残っているという事ですか。」

「おそらく、その可能性はあると思います。」

わたしは、第7から第9評議会の創造主達を呼び寄せました。

そして、彼らの力によってこのコアを覆い隠しているエネルギーの浄化を行ってもらいました。

すると、コアの前で、このコアのエネルギーを高める為に働いている女神が倒れています。

ロッド星人がすぐに女神を助け出し、創造主達が光を送ると、女神は意識を取り戻してきました。私は、女神の意識が戻るのを待って何が起こったのか、女神に尋ねました。

「皆さん、私達を助けてくれてありがとうございます。
私達が、コアを守っていると、突然大きな閃光が煌めき、私達は意識が遠くなるのを感じました。ドラゴン達も急に力を失い、次々と倒れていきました。
私は、自分の光を放ちコアを守ろうとしたのですが、重苦しいエネルギーに包まれ、何も見えなくなり倒れてしまったのです。
遠くなる意識の中で、コアの光が閉ざされて行くのを見ていた気がします。」

おそらく、人々のネガティブな感情が予想よりも沢山発散されていたのは、この地球のコアを包むネガティブなエネルギーにより、人々の感情が増幅されていた可能性があります。
そしてその増幅された感情により、地球の各所で大きな地震を起こそうと企んでいたのかもしれませんが。ロッド星人からの報告で、地球のコアの異変は、光59%の世界だけでなく、光51%以上の全ての世界でも見つかりましたので、相当力を持っている創造主が行なった可能性があります。

私はすぐに「流れを作る創造主」を呼び出し、この女神の時間をさかのぼり、誰がこのような事をしたのか、調べることにしました。

「流れを作る創造主」は、私達や他の創造主と共に、時間をさかのぼります。
するとこのコアに突然侵入してきた存在がいた事が分かりました。
黒いエネルギーや閃光で、その姿は、はっきりとは見えませんが、私達の世界の創造主である事に間違いはないようです。
彼は、黒い闇のエネルギーによってドラゴンの力を奪い、闇の次元へと閉じ込めてしまいました。
そして女神を傷付け、コアの周りに闇のエネルギーを噴出させ、コアのエネルギーを奪っています。

数名の創造主は、この映像を基にドラゴン達を救出に行きました。
私達は、犯人を捕まえる為に、この映像のエネルギーを調べ、ピカフラッシュにこのエネルギーを持つ創造主をさがしてもらいます。
すると、ピカフラッシュは、高次元の壁をどんどん抜けて第9評議会の世界へと走っていきます。
行きついた先は、第9評議会の創造主の1人です。
これには、第9評議会の他の創造主達も驚いています。
彼も非常にまじめな創造主で、昨年までは何の異変もない創造主でした。

私は、彼に、何故地球のコアのドラゴン達を連れ去り、コアのエネルギーを奪いとったのか創造主に尋ねます。
「私は、特別な目的があって行ったのではありません。
そうしなければならないような気がしたので、私は、物理次元に降り、コアのエネルギーを奪い取りました。」

この創造主をしらべると、確かにコントロール・チップがつけられて、捜査を受けていたことが分かりました。この数日の間に、誰かがこの創造主を利用するために、コントロール・チップをつけた可能性があります。ただ、第9評議会の創造主にコントロール・チップをつけることができるのは、第10評議会の創造主である可能性も高くなりますので、私達は、第10評議会の創造主にも出てきてもらいました。

「TAKESHIさん、私達もこの地球の様子を見て非常に驚いています。

すでにこの宇宙は新しいエネルギーに生まれ変わっているはずですので、このような事が起こるはずもないのですが、一体どうしたという事でしょうか。」

「創造主達よ、大変申し訳ありませんが、第9評議会の創造主の1人にコントロール・チップがつけられ、意識を操作されていました。

これは第9評議会、もしくは第10評議会の創造主かそれに値する力を持った創造主が行なった可能性がありますので一緒に調べてもらえませんか。」

「その様なことでしたら、私達も協力しましょう。」

私達は、「流れを作る創造主」にお願いして、この第9評議会の創造主の時間をさかのぼり、誰がこのコントロール・チップをつけたのか調べることにしました。

「流れを作る創造主」によって時間が逆に流れていきます。

第9評議会の創造主が、地球のコアに突然現れた様子も明らかにされていきました。

それはコアの女神が言うとおりの瞬間に起こった事件でした。

これだけの力を持った創造主ですので、コアのエネルギーを奪い去るのにはいくらかも時間がかからないのは当たり前です。

そしてこのコアを襲う少し前に戻ると、やはり第9評議会の創造主に突然コントロール・チップをつけた犯人が現われました。

それは、第9評議会の創造主はもちろん第10評議会の創造主の半分以上の創造主も見ることが無い創造主の姿でした。

彼が稲光のような速さで、第9評議会の創造主の後ろに現われ、コントロール・チップの様なエネルギーを入れ込み、自分のコントロールに従うように仕組んでいます。

第9評議会の創造主は、自分の本来の意識を失い、なすがままに操られているようです。

第10評議会の創造主の1人が、信じられないといったような表情でその様子を見えています。

「この創造主は、あまりにも行動が乱暴であったために、私達がまだ若いころに、封印されて創造主の力を奪われた創造主です。

それがなぜ、今になって現れたのか不思議です。

この「乱暴者の創造主」の事は、第10評議会の創造主でも、古い創造主しか知らないはずなのですが、」

「という事は、この創造主の事を知っていてあえて甦らせた者がいるという事ですね

その者は、この地球のアセンションを妨害するために、この「乱暴者の創造主」を甦らせたのでしょうか。」

「そうだとしか考えられませんね。

これは放っておくと大変なことになります。」

もちろん、この創造主を放っておくと大変なことになるのは分かっています。

私達は、誰がこの創造主を復活させ、この時代に連れてきたのか調べることにしました。

「乱暴者の創造主」の時間を「流れを作る創造主」が遡っていきます。

すると、意外なことに「乱暴者の創造主」を復活させたのは、私達の宇宙の創造主ではなく「混乱の宇宙」の創造主の1人のようです。

「これは、どういう事ですか、「混乱の宇宙」の創造主がこの「乱暴者の創造主」の事を知っていて復活させたのですか。」

「いえ、彼はまだ若い創造主ですので、「乱暴者の創造主」の事など知らないはずですし、彼にとっては遥か上位の創造主に当たりますから、きっと他の創造主から頼まれたのだと思います。」

第10評議会の創造主は、ここまで来ると誰の仕業か分かったようです。

第10評議会の創造主達は、集まって話し合っていました、一人の創造主を呼びだしました。

「TAKESHIさん、大変申し訳ありません。

犯人は、第10評議会の創造主で、いつも私達と対立する意見を述べていた創造主のようです。

彼は、最初から、地球と宇宙のアセンションや創造主の立て直しについて反対の立場をとっていましたが、実際に妨害を行うとは、私達も考えていませんでした。」

私は、第10評議会の創造主達の言葉を聴き、疑問に思ったことがあります。

「そうですか、しかし何故「混乱の宇宙」の創造主が「乱暴者の創造主」を復活させるために働いたのですか。」

「それは、「混乱の宇宙」を作ったのが、この第10評議会の創造主だからです。」

私は、その言葉で全ての謎が解けた気がします。

第8評議会の「全てを見渡す創造主」が、この「混乱の宇宙」の創造主と手を組んで、地球に様々な罠を仕掛けてきたりダークピープルを送りこんできたのも、裏でこの「混乱の宇宙を作った創造主」が指示をしていたことが分かりました。

この第10評議会の創造主にしてみれば、自分が作った宇宙の創造主やダークピープルですから、彼らを利用するのはいとも簡単な事だったのです。

PART 3 「混乱の宇宙を作った創造主」の考え

私は、第10評議会の創造主に、この「混乱の宇宙を作った創造主」の事について尋ねました。

「この創造主は、宇宙に多様性をもたらすために作られた創造主です。

彼は、宇宙に様々な要素やエネルギーを持ち込み、いくつもの性格が異なる宇宙を創造してきました。

彼自身は、宇宙の成長のために働いているのですが、少し行き過ぎたところがあって、私たちとの協調関係はあまり良好なものではありません。

しかし、創造主はお互いの創造にはあまり干渉しないという原則がありますので、彼の事は誰も咎めてはいませんでした。」

私は、「混乱の宇宙を作った創造主」と少し話をしてみることにしました。

「「混乱の宇宙を作った創造主」よ、あなたは何故、「乱暴者の創造主」を使って、私達の宇宙のアセンションを妨害したのですか。」

「混乱の宇宙を作った創造主」は平然とした顔で答えます。

「私は、元から地球と宇宙のアセンションには反対しておりました。

地球は、創造主を含め、多くのスターピープル達が成長するための学びを行う為の場所ですが、その目的は未だ十分には果たされておりません。

多くの者が、十分に成長しきっておらず、いまだ様々な問題を抱えています。

その様な状況の中で、少しばかり成長した者達だけをアセンションさせ、残りの者達を見捨ててしまうというような考え方には、私は以前から反対しておりました。

全ての者がアセンションするにふさわしい成長を遂げるまで、今の地球を存続させるべきだと私は主張してきたのです。」

私は、「混乱の宇宙を作った創造主」の意見を聞いて、それも一理あるなと考えましたが、彼が言っている事と行っている事のギャップがあるように思えます。

「「混乱の宇宙を作った創造主」よ、あなたの意見は正しいかもしれませんが、地球の物理世界では、闇に落ちた創造主や強力な力を持つダークピープル達がたくさんいて、この星で学びを行う者達も光を奪われてしまう事が頻繁におこってしまいました。

地球人をサポートするスターピープル達も、ダークピープルに捕えられ傷つけられる事もあったのです。

私達は、ダークピープルに捕えられた人々やスターピープル達を沢山救いだしてきました。

しかしこのまま地球を維持しても、あなたが言うように全ての存在をアセンションさせる事は不可能でしょう。それどころか、今、かろうじて光を保っている人達でさえも、やがてその光を奪われ、生命を失っていく事になるのです。

その事を防ぐ為に、私達は地球のアセンションを行い、助け出せる事が出来る人だけでも助け出したいと思っているのです。」

「混乱の宇宙を作った創造主」は、きっとその事も、地球人やスターピープル達の学びであると思っているようです。

「地球の人々は、その様な状況を自ら変えることなくしてアセンションを果たすことはできないのです。

そしてスターピープルも大きな障害を乗り越えなければ、成長する事はありえません。

その為に地球はあるのですから、私はもっと多くの障害があってもよいと思っています。」

「あなたが考える障害をもたらすために、闇の創造主やダークピープルが活躍していますが、彼らによって地球に生きる人々は超えることができない程大きな障害を受け、成長するどころか、自分自身も闇に捕らわれていくのです。

あなたの様な主張をする創造主に、私は沢山あってきました。

そして、その多くの創造主が、自ら地球の物理世界に降りた時に、あまりの障害の大きさに自分自身が打ちのめされて、何もできなかった自分を知るのです。

あなたもきっと地球に降りたら、何もできず、自分が言った事をその身で知る事になるでしょうね。」

「いえ、私は物理世界には興味がありません。

私は、創造主として、多様性を持った宇宙を創造するために存在していますから、多くの創造主達を導き、多様性を持たせる事を仕事としています。」

「それでは、あなたが作った「混乱の宇宙」の創造主達が、私達の宇宙に入り込み、私達の宇宙の創造主にコントロール・チップを入れて操作したり、様々な問題を起こす事も正当な事だとお考えですか。」

「もちろんです。皆さんの宇宙はもっと多様性を許容すべきだと思います。

決まり決まったやり方だけが正しいと考えるのは、皆さんが未成熟な証です。

もっと、異なる状況ややり方を受け入れて成長していく事が、皆さんにとっても必要な事ではないのでしょうか。」

私も、「混乱の宇宙を作った創造主」の理屈に押されています。

「創造主よ、多様性がある宇宙の方がよいという意見には、私も賛成いたしますが、かつて封印した創造主をかつてに復活させ、第9評議会の創造主にコントロール・チップを入れ、地球のアセンションを妨害する事は、一人一人の創造主の尊厳を無視したことになりますし、創造主評議会の合意を覆すことになります。これでは多様性がある宇宙が創造されるのではなく、自分勝手な者達が横行するだけの野蛮な宇宙になってしまうのではないですか。」

「あなたは、創造主ではなく地球の物理次元に生きているので、私達の考えが理解できないのです。創造主は、常識にとらわれない立場で活動しなければ、新たな創造などできません。」
どうもいつものように相手の創造主の尻尾をつかむことができません。
今回は、第10評議会の創造主達に、彼をしっかりと見張ってもらう事にして、私もおとなしく引き下がり、また機会を伺いたいと思います。

PART 4 「混乱の宇宙を作った創造主」の罠

私達は、第10評議会の創造主達から、物理世界に光を降ろしてもらいながら、新しく生まれた光59%の世界の人々の浄化を進めていくのですが、なかなかすっきりとはしません。

2017年に入る直前に、第4評議会のスターピープルであるネターシャー族が私達のグループに加わり、彼らの卓越した科学技術によって、ダークピープルと一体化している人から、ダークピープルを引き離すことができるようになったのですが、それでも人々のネガティブなエネルギーの噴出は止まりません。

私はロッド星人やアシュタールのエレナさんとも話会い、その原因を探ろうとするのですが、いくつかのダークピープル達は見つかるのですが、これといった大きな原因は見つかりません。

その様な中、美樹さんが1月5日の明け方不思議な夢を見ました。
きっとこれから生まれてくるお腹の中の子供とつながる創造主や私と美樹につながる創造主が何かを発見したようです。

お腹の中の子供も、これから生まれてくる地球の状況を敏感に感じとっているようです。
昨年のお祭りの頃までは、少しでも早く生まれたいと大騒ぎしていたのですが、最近は光59%の世界になっても、創造主達が変なエネルギーを送って来たり、ダークピープル達が暗躍しているので、生まれてくることに少し慎重になっているようです。

その日に見た夢は、美樹さんが公園を歩いている夢です。
その公園は、きれいな公園であるにもかかわらずいくつもの場所に大きな蜘蛛の巣がはられており、生まれたばかりの子猫たちがその蜘蛛の巣に捕えられて身動きができない状況になっているのです。
美樹さんはその中を歩きながらとても大きな不安に駆られています。
私は、美樹さんからその夢の話を知ると、これが今の状況に大きな関係がある事に気づき、仲間達を呼びだしました。

きれいな公園は、光59%の世界の事でしょうが、その各場所に、誰かが罠を仕掛けて、光59%の世界に来る人達を捕えている可能性があります。
事態を重く見たロッド星人が仲間達に連絡を入れると、各評議会のスターピープル達が集まります。

私達は、この場所を発見した美樹さんの探査役の創造主とピカフラッシュにお願いして、この夢に見た場所に案内してもらいます。

ピカフラッシュがエネルギーを探査すると、蜘蛛の巣のような罠に人々のスピリットが捕えられている場所が、光59%の世界の至る所にありました。

スターピープル達は、昨年の末までに、光59%の世界を何度も調べていたのに、このように至る所に作られている罠を見つける事ができなかったことにショックを覚えています。

ロッド星人が少し怒ったような表情をしています。

「きっと昨日の創造主の仕掛けた罠だと思います。

上位の創造主が行う事は、下位の創造主やスターピープルでは見分ける事ができませんので、彼がおそらく物理世界に働きかけることができる創造主やダークピープルに、この罠を作らせて隠していたのだと思います。問題は、誰がこの罠を作り、人々のスピリットを捕えているかです。

人々のスピリットを助け出すためには、この世界から彼の力を排除しなければなりません。」

私達は、この罠を隠しているエネルギーを高次元にさかのぼって調べることにしました。

するとやはり「混乱の宇宙を作った創造主」のもとにつながっていることが分かりました。

私は、第10評議会の創造主と第11評議会の創造主に来てもらう事にしました。

第11評議会の創造主は、今迄お会いした事が無いのですが、第10評議会の創造主の力を完全に抑えるためには、上の評議会の創造主の力が必要なので呼びすることにしました。

私達が気持ちをひとつにして祈ると、第11評議会の創造主の方が現われてくださいました。

この第11評議会の創造主達は、全ての宇宙を清浄なものにする力を持っている創造主達です。

彼らが表れてくださることは滅多にないようですが、私達が困っている様子を見て助けに来てくださいました。

私は、第11評議会の創造主に向かってお願いをしました。

「偉大なる創造主よ、私達は非常に困っています。

おそらく第10評議会の「混乱の宇宙を作った創造主」によって、アセンションした地球に大きな罠が仕掛けられているようですが、私達は、それを十分に調べる事ができないのです。

どうか「混乱の宇宙を作った創造主」の力を抑え、私達がこの罠を調べる事ができるようにしてもらえませんか。」

第11評議会の創造主はすこし状況を調べているようです。

「TAKESHIさん、私達も、昨日の「混乱の宇宙を作った創造主」とあなたの話をずっと聞いておりました。

確かに「混乱の宇宙を作った創造主」は、彼の言うとおり、宇宙に多様性をもたらす目的で作られた創造主ですから、彼が言っていることは決して間違っておられません。

しかし、その為にどのような方法をとるかという事について、少し行きすぎたところがあったようです。

彼の創造主としての権限と力は、私達が彼から取り上げますのでしっかりと調べてください。」

その言葉にスターピープル達は大喜びで、各評議会のスターピープル達がグループを作って、あちらこちらに調べに行きました。

その中の一つのグループから連絡が入りました。

「TAKESHIさん、すぐに来てください。

この罠を作ったと思われるものを見つけましたが、私達だけでは、捕える事ができません。」

私はすぐに各評議会の創造主達を呼び出し、その場に向かいます。

そこにいたのは、今まで見たことが無い姿をした存在です。

どこか「混乱の宇宙」の創造主にも似た雰囲気を持っていますが、もっと狡猾で悪賢い雰囲気がします。

私は、すぐに高次の創造主にこの存在について尋ねました。

ほとんどの創造主が、この存在を知らないようです。

しばらく沈黙が続きましたが、第10評議会の1人の創造主が、仲間達と話した後、報告してくれました。

「おそらく、この者は「混乱の宇宙を作った創造主」がつくったもう一つの宇宙からやってきた創造主ではないかと思います。」

「その宇宙はどのような宇宙なのですか、」と私は尋ねます。

「皆さんの常識では、理解することが難しいかもしれませんが、自分にとって有益なものを全て取り込んで自分達を成長させる宇宙と言ったらよいでしょうか。」

彼らの宇宙では、他の宇宙のスターピープル達を捕え、その遺伝子や能力を奪う事で自分達を成長させていく宇宙なのです。」

その話を聞いて多くの創造主やスターピープル達が何とも言えない恐怖を感じています。

私もアメリカのドラマである「スタートレック」に出てくる「ボーク」という機械生命の事を思い出します。

彼らは自分達が出会った相手を、自分達の仲間にして機械に作り変えてしまうのです。

私は、彼らの宇宙を「略奪の宇宙」と呼ぶことにしました。

私はすぐに、高次の創造主によって、彼らを抑えてもらい、彼らが何を計画していたかを調べてもらいました。

PART 5 「略奪の宇宙」の創造主の恐怖

しばらくして、第10評議会の創造主から報告がありました。

「彼らが作った罠は、地球がアセンションした世界に分かれてから発動するようになっていたようです。」

この罠は、光59%の世界に来た人達の純粋さや素直さを奪い取るための罠だったようです。

この罠にかかった人は、自分のエゴに基づいて行動し、猜疑心をもって人を見ますので、そこには怒りや憎しみの感情が生まれ、本来持っている優しさや慈しみのエネルギーは失われていきます。

そして、愛の度をどんどん下げて、この光59%の世界の波動を落としていく計画だったようです。」

第1評議会、第2評議会のスターピープル達がその話を聞いて怒っています。

自分達が、人々の感情を一生懸命浄化しているにも関わらず、このような罠のおかげで、人々が怒りや憎しみの感情から解放されることが無かったためです。

これでは、スターピープルが、人々の感情を開放する傍らで、たくさんのネガティブな感情のエネルギーが作り出されてしまいます。

私達はすぐに、この罠を光に返し、大天使たちにも手伝ってもらい、罠に捕えられた人々のスピリットを開放していきませんが、恐ろしいことに光59%の世界に来たほとんどの人のスピリットが捕えられていたようです。

私達は、彼らがほかに何か仕掛けていないか、彼らのゲートを開き探索しました。

するとそこには、私達を大きな恐怖に突き落とすほどの罠が隠されていたのです。

その時、美樹さんがもう一つの夢を思い出しました。

それは、出産のための産院でのことです。

多くの妊婦たちが、自分の子供を出産するために、産院で順番を待っているのですが、どうも寒々とした雰囲気漂っていて様子がおかしいようです。

美樹さんは、自分と仲が良かった友達が、分娩室に行くのを見送り、次が自分の番だというところで目を覚ましたようです。

私達はすぐにその夢の中に入り、産院で何が行なわれているか調べました。

そこで行われたことを見て、多くのスターピープル達が大きなショックを受けています。

それは、「略奪の宇宙」の創造主によって連れてこられたダークピープル達が、医者や助産婦さんの意識の中に入り込み、生まれてくる子供達のスピリットを肉体から引っっこ抜き、代わりに「略奪の宇宙」のダークピープルのスピリットを入れ込んでいるのです。

光59%の世界には、善良で光をたくさん持った人間だけでなくこれから地球人をアセンションさせるために、優秀なスターピープル達が、人間の肉体を持って生まれてくる事になっています。

あるいは、私達の子供のように創造主のスピリットの一部を持って生まれてくる子もいるでしょう。

その様な子供たちが生まれてくる時に、純粋で気高いスピリットを無理やり肉体から引き離して奪い去り、その代わりに恐ろしい無慈悲なダークピープルのスピリットを入れてしまうのです。

それはすこし考えただけでも恐怖の人生です。

アセンションした光59%の世界に、生まれてくるはずの子供達全てが、ダークピープルになってしまえば、家族だけでなく、この世界全てが壊滅します。

私は、すぐに最も物理世界に近いブラッド星人や第1評議会のスターピープルにお願いして、光59%の世界にある産院をしらべてもらうと、全ての産院にこのダークピープル達が入り込み、「略奪の宇宙」の創造主との間にゲートが開いているのです。

私達の子供のスピリットでもある第8評議会の創造主は、地球の状態や産院の状態がおかしいことに気づいて、お腹の中の子供が生まれてくるのを引き伸ばし、原因をさがしていたのです。

もし、この産院の罠が残っている状態で、子供が生まれてきたら、私達の子供の体から、創造主のスピリットが引き抜かれ、ダークピープルのスピリットを持った子供が生まれてきた事に間違いはないでしょう。

そうなると地球のアセンションは、崩壊してしまう事になります。

子供も、お腹の中で「混乱の宇宙を作った創造主」に対して怒りまくっています。

これには、全ての創造主達が驚いています。

私は、第10評議会の創造主に問います。

「この「略奪の宇宙」が、私達の宇宙に介入する計画は、皆さんの計画の中にあつたのですか。」

「いえ、とんでもない。

この宇宙は、他の宇宙と絶対に交わってはいけない事になっているのです。

自分達の宇宙の中だけで、お互いを略奪し合うように定められているのです。」

「それがなぜ、このような事になっているのですか、」

「おそらく「混乱の宇宙を作った創造主」が、かつてに「略奪の宇宙」と皆さんの宇宙をつなぎ、「略奪の宇宙」の創造主達が入り込めるようにしたのでしょう。」

多くの創造主が「略奪の宇宙」の恐怖を感じ、第10評議会の創造主に不満を訴えています。第10評議会の創造主も、「混乱の宇宙を作った創造主」が実際に物理世界に手を出すとは考えていなかったようでオロオロしています。

私達は急いで、第11評議会の創造主と第10評議会の創造主にお願いして、この「略奪の宇宙」とのゲートを閉じてもらい、「略奪の宇宙」の創造主達を光に返してもらうようお願いしました。

第11評議会の創造主と第10評議会の創造主たちは、私達の願いを聞き入れ、「略奪の宇宙」とのゲートを探し出し、ゲートを閉じてくれましたが、物理世界ですでに動き出している者は、物理世界で処理しなければならないようです。

私達はまず、第1評議会のスターピープルでは、「略奪の宇宙」のスターピープルに対抗できないので、第3、第4評議会のスターピープル達を中心に、全ての産院に開いた「略奪の宇宙」とのゲートを閉じ、そこにいたダークピープル達を捕まえます。

彼らはすでに、人と一体となっていますので、第4評議会のネターシャ達のエネルギー分離装置の光を当て、人とダークピープルを分離し、ダークピープルだけを光に返します。

彼らはまだ、地球に入ってきて1か月も経ちませんので、たとえ人と一体化していても、分離することは可能ですので、何とか処理ができました。

第2章 「略奪の宇宙」と光59%の世界の未来

PART 1 さらわれたスターピープル

私達が、産院に入り込んでいたダークピープルを処理し、一息ついていた頃、ロッド星人から緊急連絡が入りました。

「TAKESHI さん、大変です。

アセンションした地球のために特別に用意していたスターピープル達の多くがすでにさらわれています。」

その報告を聞いたアシュタールのエレナさんを始め、第1評議会のスターピープル達の顔が青ざめます。

私は、その様子を不思議に思い、エレナさんに、地球のために用意していたスターピープルとは何かと尋ねました。

アシュタールのエレナさんは、少しためらいながら説明してくれました。

「まだ TAKESHI さんには、お話ししていなかったのですが、光59%の世界にいる人々を、「光の地球」にアセンションさせるために、物理世界で活躍するスターピープル達を準備しなければならなかったのです。その為に、優秀なスターピープル達の遺伝子を組みあわせて、物理世界でも十分に活躍できるスターピープル達を生みだしていたのです。」

「え！私はそんな話は聞いていないですよ。」と私は言います。

「ごめんなさい、TAKESHI さん、地球の物理世界では、ダークピープル達がさまざまな情報を盗み出すので、TAKESHI さんには秘密にしていました。」

これは実はよくある事なのです。

私は、今人間なので、ダークピープルは私の中にも入りこみ、情報を盗み出すことも簡単にできるのです。

ロッド星人は、私達に急いで状況を報告します。

「「略奪の宇宙」の創造主は、私達の宇宙の創造主の中にも入り込み、スターピープル担当の創造主を見つけだしたようです。

その創造主から、この地球に送る予定だったスターピープル達の情報を盗み出すために、彼らの記憶を抜きだし、あたかも、そのスターピープル達が初めからいなかったかのように操作したようです。

私達は今、スターピープルがどこに連れ去られたかを探していますので、応援をお願いします。」

評議会のスターピープル全てに戦慄が走りました。

自分達の優れた遺伝子を使って作られた貴重な子供達を奪われたのですから、これほど大変な事はありません。私達は、まずスターピープル担当の創造主を呼びだします。

彼らは、スターピープルに関する記憶をすでに失っていますが、自分達が大変大きなミスをしたことに気づいているようで、とてもうろたえています。

私は「流れを作る創造主」を呼び出し、彼等に起こった事を、時間をさかのぼって見せてもらいます。

すると、まだ3日ほど前の事です。

彼らの後ろから、どす黒い闇が立ち込め、闇に包まれた創造主達は気を失っています。

その闇の中から、出てきた不気味な存在は、まさに「略奪の宇宙」の創造主です。

彼は、創造主の光をかき分けながら、創造主の意識を調べています。

そして重要な情報を、まるで彼の意識から引っこ抜くようにはぎ取っていきます。

おそらくはぎ取られた意識や情報は、彼から失われたようです。

「略奪の宇宙」の創造主は、いくつかの光や情報を抜き去ると、闇の中に姿を消していきました。

それぞれ異なる評議会で、同じように創造主が襲われ、大切な情報を奪われたようです。

私は、ピカフラッシュにこのエネルギーを追いかけるように言いました。

もちろん、「略奪の宇宙」の創造主は、私達の宇宙とは異なる場所に、スターピープル達を隠しているでしょうから、第9評議会、第10評議会の創造主達やスターピープル達も共に追いかけ、いくつかのゲートを開いていきます。

やがて「略奪の宇宙」の創造主達が準備しておいた場所を見つけたようです。

私達がそこに入ると、たくさんのスターピープル達はその場所に閉じ込められていました。

まだ幼いスターピープル達は、自分がさらわれたことを知って恐怖でおびえています。

中には気を失っているスターピープルの子供達もいるようです。

創造主達は、そこを守っていた「略奪の宇宙」の創造主やダークピープル達を次々と光に返していきませんが、彼らも私達の宇宙の創造主に対して闇のエネルギーをぶつけ、争いが起き始めました。

光と闇のエネルギーがぶつかり合い、火花を散らしています

その中をかいくぐるようにして、スターピープルが自分達の子供を救い出しています。

その様子を見た第11評議会の創造主達は、すぐに自分達の光をその場所に流し込みます。

すると、宇宙を清浄にする光を浴びた「略奪の宇宙」の創造主やダークピープル達は光の中に溶けていきます。

第11評議会の創造主達のおかげで、無事にスターピープルの子供達を取り戻すことができました。

彼らはまだ生まれたばかりで、まだ自分達の能力や力に目覚めておらず、思考能力も発達していない赤ん坊の様な存在です。

まだまだ、親達を守ってあげなければならない存在でしたので、無事取り戻すことができ、スターピープル達は安心しています。

しかし、多くのスターピープル達も創造主達も「略奪の宇宙」の創造主達のあまりにも残酷な仕業に、いつもは温厚な彼等も、今回ばかりは怒りで言葉を失っています。

ロッド星人やグルナレッド達も、この生まれたばかりのスターピープルに自分達の遺伝子を提供していましたから、もしこのスターピープルの赤ちゃん達が「略奪の宇宙」の創造主にさらわれて研究されていたら、自分達の遺伝子を使った様々なダークピープルが作られていた可能性もあったかもしれません。

それは、私達の宇宙にとって大きな脅威となる事です。

しかし、彼らの恐怖は、まだ終わる事を知りませんでした。

私達は、さらに困難な状況に落とし込まれてしまいました。

ロッド星人が厳しい表情で私に言います。

「TAKESHI さん、彼らが行なった事をもっと徹底的にしらべましょう。

彼らの事ですから、同じ時間にいくつも罨を仕掛けるのではなく、時間の経過と共に、様々な罨が発動してくるように仕組んでいる可能性もあります。」

私もロッド星人の意見に同感です。

「流れを作る創造主」にお願いして、今度は光59%の世界の未来に行く事にしました。

先ず、私達は半年後の世界に行きます。

半年後の未来では、「略奪の宇宙」の創造主達が作ったもう一つの罨が発動していました。

それは、人々の愛を奪い取るための罨です。

この罨にかかった人は、自分達の愛をどんどん奪われて、憎しみや怒りの感情が芽生えてきます。

そこは、光59%の世界とは到底思えない混乱した世界です。

まるで今までの光40%台の地球と同じように、人々は争い、いがみ合っています。

各地でテロや宗教的な対立が起こり、経済的な侵略や抑圧も起こっています。

これでは、せっかく光を持っている人達を守るために分離した意味がありません。

全ての人が欲に目がくらみ、自分の欲しいものを奪い合い、愛の度数もどんどん低くなっています。

そして、彼らの多くがダークピープルと一体化していますので、スターピープルのスピリットを持った子供達を虐待して光を奪っています。

私達は、罨が発動した時や状況を細かく調べると、2017年の1月に戻り、この罨を探し出して光に返していきます。

今は、「混乱の宇宙を作った創造主」の力もこの地球の物理世界を支配することはできませんので、その罨のありかさえ見つければ、罨を解消することは簡単にできます。

私達は次に、2年後の光59%の世界に向かいます。

ここでは「略奪の宇宙」から、多くのダークピープルたちが、私達の宇宙に入り込み、愛や純真さを失って自己中心的な考えかたになってしまった人々と一つになっています。

光59%の世界は、もうすでにアセンションした世界とは、とても言えない殺伐とした世界に変わり、人々の意識も混乱と狂気に満ちています。

光59%の世界の人々は、「略奪の宇宙」の創造主が仕掛けたいくつもの罨により、愛や誠実さが失われ、ダークピープルと波長が合う人々に作りかえられていたのです。

そして、創造主達が準備してくれた「光の地球」に向かう人など1人もいなくなり、皆さんがどんどんディセンションしていきます。

私は思いきって10年後の世界を見せてもらいました。

しかし、私達はもうそこに何も見ることはできませんでした。

光59%の世界は10年もたたないうちに、「略奪の宇宙」の創造主とダークピープルによって破壊され、何も残っていなかったのです。

さすがにこの結果を見せられた第10評議会の創造主は、「混乱の宇宙を作った創造主」が行なった事に対して大変な恐怖を覚えた様です。

そして「混乱の宇宙を作った創造主」を見逃していた自分達の愚かさを嘆いているようです。

この時点で、第11評議会の創造主と第10評議会の創造主は、「混乱の宇宙を作った創造主」を光に返すことにしたようです。

彼が、存在している事で、光59%の世界が消滅する未来が実現する可能性が高くなるからです。

しばらくすると、光59%の世界に立ち込めていたうす暗い霧のようなエネルギーがずっと抜けていきました。きっと「混乱の宇宙を作った創造主」が光に帰った事で、この世界から「混乱の宇宙を作った創造主」のエネルギーが消え去り、彼が行なったことがもっと明るみになることとなります。

本当の探索はここからでしょう。

ロッド星人が真剣な表情をして私に言います。

「このままでは、地球の未来はもうすでに失われる事になっていたようです。

何が原因だったのか、もっと詳しく見ていきましょう。

先ず3年後から見ていきましょう。」

「流れを作る創造主」も状況の深刻さを良く理解してくれているので、自分の能力の全てをつかって、私達に正確に未来の映像を見せてくれます。

3年後は、2年後よりも、さらにダークピープルが増え、街並みも汚れて浮浪者や孤児の様な子供達の姿もあちらこちらに見えてきます。

町は排気ガスで汚れ、自然破壊も起こり始めているようです。

4年後になると、この世界の状況に危機感を抱いたスターピープル達が、地球の人々やダークピープル達の活動に直接介入してきているようです。

もうすでに光59%の世界の特質は失われディセンションした世界になりつつありますが、このままでは地球そのものが崩壊する危険性が出てきたのでスターピープルがダークピープルの強制排除に踏み切ったようです。

世界のあちらこちらで、ダークピープルとスターピープルの争いが起こり始めています。

5年後は、ダークピープルとスターピープルの直接対決が始まりました。

地球の人々も2つのグループに分かれ、お互いを攻撃しあっています。

そして、ここから始まる戦争の中で、ダークピープルによって核兵器が使用されたようです。

世界各地で、核ミサイルが爆発し、原子力発電所も破壊され、大量の放射能が人々に降りかかっています。

地球と地球に生きる生命たちは、放射能の汚染によって傷つき、生命力を失い、自然も枯れはてていきます。

そして、人々の姿はこの地球から消えていきました。

10年後には、私達が先ほど見たように、スターピープルもダークピープルもいません。

もちろん、私達も人間もいませんので、全てが終わってしまったようです。

まるで近未来の映画を見ていたような気がしますが、これは現実には起こるはずの出来事でした。

私達は、光40%や30%台のディセンションした世界では、このような事も当然起こるだろうと考えていましたが、まさか「光の地球」に入る人を育てる光59%の世界で、このような事が起きるとは誰も考えていませんでした。

私達は、このような未来を地球が迎えなくてすむように、長い時間をかけてアセンションの準備を行ってきたのです。

そして2017年の1月に多くの困難を乗り越えてアセンションを迎えました。

そのアセンションした世界で、このような悲惨な未来が待ち構えていたとはだれも予測できないことです。そして地球のアセンションは、宇宙のアセンションであり創造主の世界の立て直しでもありますから、そのすべてが崩れ去っていきます。

創造主とスターピープル達で集まって会議を行っています。

どうやら、これは光59%の世界だけでなく、光51%以上の世界の全てで行われていたことのようにです。私達はまず、光59%の世界で、この問題を片付けた後、それぞれの世界のスターピープルや創造主と共に、「略奪の宇宙」の創造主やダークピープル達をそれぞれの世界から排除していかなければなりません。

そのために、私達はまず「略奪の宇宙」を作りあげた「混乱の宇宙を作った創造主」を光に返しました。そして第11評議会の創造主達が「略奪の宇宙」に清浄化の光を流すことにより「略奪の宇宙」そのものの力を弱めていきます。

「略奪の宇宙」から私達の宇宙に開かれたいくつかのゲートも高次の創造主によって閉じてもらいましたので、これから「略奪の宇宙」から、凶悪な創造主やダークピープルが入り込むことはなくなると思います。後は物理世界に入り込んでいる「略奪の宇宙」の創造主とダークピープルを見つけ出して処理すれば良いことになります。

スターピープルと創造主達は、各世界ごとにグループを作り、彼らが別の世界に逃げ込まないように注意しながら、同時に処理を始めました。

各世界に開いている「略奪の宇宙」とつながっていたゲートを閉じ、そのゲートに関わっている存在達を光に返します。

そして、現実世界に仕掛けられた罠を徹底的に探し出し除去します。

最後は、もうすでに「略奪の宇宙」のダークピープルと一体化している地球人達を探し出し、ネターシャ達が持っているエネルギー分離装置で、人とダークピープルを分離し、ダークピープル達を光に返していきます。

この作業は、全ての評議会の創造主とスターピープル達が協力して行いましたが、やり終わるまでにはかなりの時間がかかったようです。

私も、2017年からは、体調もだいぶ良くなり、毎日仕事に出るようになりました。

そのために、以前ほど、彼らと一緒に仕事をする事はできなくなってしまいましたので、この作業は彼等にお任せすることにしました。

第3章 感情に飲み込まれてしまった創造主

PART 1 「愛のない宇宙」

私達は、突然襲いかかってきた「略奪の宇宙」の創造主達による罠に翻弄されながらも、何とか「略奪の宇宙」の創造主達のたくらみを明らかにし、彼らを撃退することができました。

しかし、これも全て「略奪の宇宙」を作った「混乱の宇宙を作った創造主」が、地球のアセンションを妨害するために、計画していた事のようにです。

私達と親しいスターピープルや創造主達も、これほど周到に地球のアセンションを妨害する計画を立てていた創造主がいたことに大きなショックを感じています。

第10評議会の創造主達も「混乱の宇宙を作った創造主」が、評議会の合意に反してまで、アセンションを失敗させるために、地球に様々な罠を仕掛けるとは考えもしなかったようです。

しかし、一時的にアセンションした世界とはいえ、光59%の地球も何が起こるのか全く分からない状況になってきました。

この「略奪の宇宙」のエネルギーの処理が終わった7日、もう生まれてきてもよいはずの子供の様子が少しおかしいようです。

お腹の中の子供が、私達に「苦しいよ。」と伝えてきます。

子供とは、私達はいつもテレパシーで話をしていきますので、子どもの状態や子供が何をしたいのかすぐにわかります。

彼女のスピリットも探査能力に優れた創造主なので、自分が生まれる予定の地球の状態を細かく調べ、地球のエネルギー状態が良くなったところで生まれてくる予定にしているようです。

その子供が苦しんでいるのは、一体どうしたことでしょうか。

美樹さんは、定期的にクリニックに通い妊婦健診を受けて、子どもの状態を医学的にも調べてもらっています。現在子供の成育状況は良好で体重も2700g、身長も56cm位あり、胎盤の状態も問題がないようです。お医者さんも、いつ生まれてきてもよい状態ですね、と言ってくれています。

しかし、お腹の子供に対しても、最近はサイキック・アタックが来るようになったので、私達も注意深く見守っているのですが、この数日、子どもの具合があまりよくないようです。

子供は、地球に肉体をもって生れてくるから、肉体の波動が重く感じられると考えているようです。

しかし、私達は、この重たいエネルギーがどこから来ているのか、ピカフラッシュとロッド星人に調べてもらう事にしました。

ロッド星人の報告では、お腹の中の子供に、光59%の世界に生きる人々の感情や潜在意識とのゲートを作られていたようです。

「TAKESHIさん、光59%の世界はアセンションした世界といっても、人々の意識は今までの地球とほとんど変わっていません。

人々が新しい世界に来た事で、この世界に適応できるように、感情の噴出が起きているのだと思われます。

そのエネルギーがお子さんに影響を与えているようです。」

確かにそうかもしれませんが、ロッド星人は、第2評議会のスターピープルなので、物理世界の事はよく見えているのですが、上位の創造主が関わってくると、やはり彼にも本当の状況は隠されて見えなくなることもあります。

私は、ピカフラッシュにさらに、人々の感情の奥にあるエネルギーのラインを探し出してもらいます。

するとやはり別の場所へとつながっているエネルギーのラインが見つかりました。

そのエネルギーは、人々の感情のエネルギーでカモフラージュされて、私達へと繋がれていたようです。

私達は、そのエネルギーを辿っていくと、私達の宇宙を出て他の宇宙へとつながっているようです。

私達は、他の宇宙に勝手に入る事はできませんので、第10評議会の創造主をお願いして調べてもらいます。

創造主達は、すぐにそのエネルギーのラインを私達から断ち切ると、エネルギーを伝えて調べに行きました。

やはり、その宇宙も「混乱の宇宙を作った創造主」が作った宇宙の一つのようです。

創造主に調べてもらうと、そこは「愛が存在しない宇宙」でした。

誰がつなげたのかわかりませんが、私達に「愛が存在しない宇宙」のゲートがつながれ、子どもにその宇宙のエネルギーが流れ込んでいたようです。

そのために、お腹の中の子供は「苦しい」と言っていたのです。

もしこのまま、私達がこの宇宙とのつながりに気づかずに、子供を出産していたらどうなるか調べてみることにしました。

そうすることで、このゲートを開いた犯人の目的が分かるからです。

私達は「流れを作る創造主」に来てもらい、子供の未来を見せてもらいました。

このゲートがつながったままの子供は、生まれてきた直後は、いつも怒ったり泣いたりして感情の起伏が激しいようです。

そして、子供から、あどけない優しいエネルギーは消え去り、冷たい可愛げのない表情に変わっています。

やがて半年後、子供につけられたゲートから、光59%の世界が別の宇宙へとつなげられています。

人々はどんどん愛を失っていき、憎しみや怒りをまき散らし、大きな混乱のなかに巻き込まれていっています。

そして、理性と愛を失った人々の中に「愛のない宇宙」から来たダークピープルが入り込み、人々とひとつになり、光59%の世界の中で自分達の勢力を拡大していくようです。

光59%の世界の人々は、宇宙意識に目覚めるところか、荒々しい感情に飲み込まれディセンションしていきます。

先日「略奪の宇宙」の処理が終わったばかりなのに、2日後の今日は「愛のない宇宙」に対処しなくてはなりません。

私は、すぐに上位の創造主と共に、この宇宙を私達とつなげた存在を探すために、ピカフラッシュに頼んで、エネルギーのラインを辿ってもらいます。

すると、第11評議会の1人の創造主のもとにエネルギーはつなげられていったのです。

私は、この創造主の事を全く知らないのので第10評議会の創造主に、この創造主の事を尋ねてみました。

すると創造主の1人が、抑えた声で教えてくれます。

「あの創造主こそが、「混乱の宇宙を作った創造主」を生みだした創造主様です。

「混乱の宇宙を作った創造主」と同じように、この宇宙は多様性に満ちる必要があるという事で、「混乱の宇宙を作った創造主」と共に様々な宇宙を作り出していたようです。」

私達は、その話を聞いて「なるほど！」と思いました。

彼は「混乱の宇宙を作った創造主」とほとんど同じような考え方をしている創造主ですので「混乱の宇宙を作った創造主」がいなくなった今、彼に変わって地球と宇宙のアセンションを妨害する為に、同じことをしてきても不思議がありません。

彼等にとって、今回のアセンションは、創造主の世界の立て直しでもあるので、自分勝手な創造を行ってきた創造主達には、望ましいことではありません。

私達は、彼が他になにか企んでいないか、創造主達に調べてもらう事にしました。

すると子供のスピリットの源である探査役の創造主からも報告がありました。

「あの第11評議会の創造主は、お腹の中の子供にも、創造主のスピリットを持って生まれてくるという事で大きなプレッシャーをかけています。

私達が必死でそのプレッシャーから子供を守っているのですが、このままでは、地上に降りても、大変な障害ばかりが襲ってくることになります。」

その言葉を聴いて美樹さんが怒りだしました。

「生まれてくる子供は、たとえ創造主のスピリットを持っていたとしても、人間である事に変わりないのです。その様な子供に、創造主が圧力をかけてその人生を邪魔するなんて、許せない。」

確かにそうなのです。

美樹さんも、人と違った能力を授かったばかりに、多くの虐待を受け、苦勞の多い人生を歩んできたので、子供にはその様な苦勞をさせたくないと真剣に考えています。

私も、創造主のスピリットを持つ子供達の多くが、地球上に降りると虐待を受けていることを知っています。そして、かわいそうな事に、創造主としての任務を果たす事なく、この世を去っていくのです。

創造主が、この地球で地球人として生きていく事が難しい理由は、創造主達が創造主のスピリットを持った人間達を、成長させるという名目で苦しめているからに他ならないのです。

この地球と宇宙のアセンションのために、多くの創造主のスピリットや優秀なスターピープルのスピリットを持った人々が地上に生れてきたのですが、まともに生き残って仕事をしているのは、私と美樹を含め、本当に限られた人数しかいないという事を想像主からも聞いています。

PART 2 「感情に左右される創造主」

私は、第11評議会の創造主で、私と深い関係にある創造主を呼びだします。

私を地上におろした創造主のリーダーがどの評議会にいるのか、私にはわかりませんが、各評議会には、私と共通のスピリットを持った創造主がいて、私の事を助けてくれることになっています。

私のスピリットの元となった創造主は、創造主の世界を立て直すために、自分のスピリットの一部を地上におろし、ひとつひとつの評議会の創造主を調べながら、全ての世界の創造主を立て直していく事を計画しているのです。

第11評議会の創造主も、最近の地球の状況を見て厳しい顔をしています。

「とうとうこの時が来たのですね、私達も、アセンションしたばかりの地球にいくつもの異なる宇宙が関わってくるとは予想もしておりませんでした。

しかも、それが私達の評議会の創造主による仕業であるとは全く許しがたいことです。

私達も協力しますので、ぜひ真相を明らかにしてください。」

私は、「混乱の宇宙を作った創造主」を生みだした創造主に出てきてもらいました。

この創造主は、私達をばかにしたような顔で出てきました。

私は、この時、今迄お会いしたこともない、第12評議会の創造主にもここに来てもらうようお願いしました。

「第12評議会の創造主よ、どうか私達のもとに現われてください。

私が、第11評議会の創造主と話をすることを見守ってください。」

私が第12評議会の創造主を呼び出すと、今迄よりもさらにまぶしい光が降りてきました。

そして荘厳な光の中から声がします。

「私達は、いつも皆さんを見守っています。

どのような立場の創造主であれ、自分の行いに責任を待たなければなりません。

皆さん、真実をどうか明らかにしてください。」

私は、第12評議会の創造主を前に、第11評議会の創造主と話を始めました。

「創造主よ、私はあなたにお聞きしたいことがあります。

それは、私達に異なる宇宙とのエネルギーがつながれ、私の子供を通してそのゲートが開かれていましたが、それはあなたが行なった事ですか。」

第11評議会の創造主は、さも当然そうな顔をして答えます。

「それがどうかしましたか。

創造主のスピリットを持つ者であれば、その程度の障害は乗り越えていくべきだと考えております。」

「創造主よ、私達が今いる世界は、まだできて数日しかたっておりません。

そこにいる人々も、世界自体のエネルギーもまだ定まってはならず不安定です。

先日も「略奪の宇宙」の創造主やダークピープル達が私達の世界に入りこみ、私達の世界は危うく壊滅するところでした。

あなたも創造主としてその事を見ていたはずです。

その処理がまだ終わらないうちに、他の宇宙のエネルギーを再度つなぐという事は、私達の宇宙が崩壊を招いてもかまわないとお考えですか。」

「いえ、その事から地球と宇宙を守る為に、皆さんが地球に降りられたと聞いております。

私も「混乱の宇宙を作った創造主」も皆さんが成長し、多様性のある素晴らしい宇宙を作る事をサポートしようと思っ

て行っていますが、それがお気に召さないのですか。」

私は、この創造主の皮肉めいた言い方に怒りを覚えています。もちろん、私だけでなく「略奪の宇宙」の処理に疲れ果てているスターピープル達も、この言葉に大きな怒りを隠しきれません。

「創造主よ、私達は、高次の創造主の指示のもとに地球と宇宙のアセンションに取り組んでいます。私達が行なっていることを妨害するという事は、あなたの評議会に認められたことですか。私達の宇宙に、評議会の決定なく他の宇宙との関わりを作るという事は、評議会の意思に逆らう事ではないのですか。」

「いいえ、私はアセンションの妨害をしているのではなく、皆さんが異なる宇宙の事を理解して成長できるようにしているだけの事です。

その様な、広い視野を持たない事には、偉大なる宇宙は出来上がらないことも事実です。」

「しかし、そのためにこれから生まれてくる子供に対してもプレッシャーをかけるという事は、創造主としてあり得ないことだと思われませんが、いかがですか。」

「創造主のルールは創造主が作るものです。

私は、その事がこれから地球に生まれてくる創造主にとって必要だと判断しているために行っています。」

私とこの創造主の話は、まだ続きましたが、どこまで行っても平行線です。

彼は、創造主を鍛え成長させるためには、何をしてもよいと考えているようです。

そして、彼と「混乱の宇宙を作った創造主」が作り上げたいいくつもの宇宙を、私達の宇宙と接触させ、私達が混乱するのを見て喜んでいるようです。

これが創造主というものでしょうか、彼らのルールは彼等自身が作るため、これ以上は、私の判断が及ぶところではないようです。

私達の話聞いていた第11評議会の創造主は、この後は、私達が調べるからと言って、第11評議会の創造主を連れていきました。

PART 3 無様な創造主の結末

私はすっかりしないまま、次の日の朝を迎えることになりましたが、朝になるとスターピープル達の様子はどうもおかしいようです。

私はすぐにロッド星人を呼び出して、状況を報告してもらいました。

「TAKESHI さん、あの後に大変なことが起きました。

TAKESHI さんが話していた創造主が、多くのダークピープルをこの地球に放ったのです。

おそらく、「愛のない宇宙」のダークピープルだと思われます。

人々の意識の中に入り込み、愛を奪おうとしていたので、私達は、その処理に追われていました。」

私は自分の耳を疑いました。

確かに、あの第11評議会の創造主と私の意見は異なっているかもしれませんが、あれだけ話をした後すぐに、地球に、多くのダークピープルを送り込むとは、いくら創造主といえども度が過ぎています。

スターピープル達も、「略奪の宇宙」に続き「愛のない宇宙」のダークピープルの出現に疲労困憊していますので、この問題をすぐに解決しなければなりません。

私はすぐに第11評議会の私のスピリットと深い関係にある創造主を呼びだして理由を聞きました。

「創造主よ、これは一体どうしたという事ですか、

何故、「愛のない宇宙」のダークピープル達が突然、私達の世界に入ってきたのですか。」

創造主は困ったような顔をしています。

「実は、あの創造主を調べる為に話をしていたのですが、逆に地球の人々を成長させるためには、もっと試練を与えなければならないと、彼から説得されてしまったのです。

そのために、第11評議会は、地球にダークピープルを送る事を容認してしまいました。」

何とお馬鹿な創造主達でしょうか、

「地球の人達は、光59%の世界に来たといっても、意識は古いままの地球に住んでいた時と変わらないのです。

新しい世界に来ることで、今迄の感情が吹き出し、スターピープル達はその処理に追われているのです。

その様な時期に、今まであったこともないダークピープルに襲われたら、地球人はダークピープルによって支配され、大変なことになると思います。

これからの地球が、一体どうなるか、未来を見てみましょう。」

私はそう言って、「流れを作る創造主」を呼び出し、この地球の未来を見せてもらいました。

光59%の地球の未来は、今迄の光40%台の地球とさほど変わらない世界が広がっていました。

ダークピープル達は地球人を支配し、スターピープルは地球人を助けるために働いていますが、今まであったこともないダークピープルに対応できず困り切っています。

そして、光59%の世界といえども、「光の地球」に誰も行くことができず、今よりも「愛の度数」を下げてしまいディセンションしていくのです。

その様子を見た第11評議会の創造主は、自分達が行なった事に大きなショックを受けています。

「これは、私達が望んでいた世界とは全く異なる世界になっているではないか。

私達の判断が間違えていたのだろうか。これは困った。」

これは困ったと言われても、本当に困っているのは、私達とスターピープル達です。

「あなた方は、物理世界の事を何も知らないから、あの創造主に簡単に騙されてしまうのです。

これが、彼の目的です。

光59%の世界にダークピープルを送り込み、人々を混乱させ、ディセンションさせることで、地球と宇宙のアセンションを成功させないことが彼の目的なのです。

何故それが分からないのですか。」

私も、創造主に対して大きな怒りをぶつけています。

「私達も、これで目が覚めました。

すぐに、「愛のない宇宙」とのゲートを閉じ、ダークピープル達を処理する事をお手伝いします。

そして、あの創造主は、第12評議会の創造主にも手伝ってもらい調べることにします。」

どうやら、自分達だけで調べる自信がないようですが、まあ、仕方がないでしょう。

第11評議会の創造主達は、急いで「愛のない宇宙」とのゲートを閉じ、下位の創造主達にお願いして、地球に光を送っているようです。

しばらくすると、「混乱の宇宙を作った創造主」を生みだした創造主を調べていた第12評議会の創造主が私達のもとにやってきてくれました。

「TAKESHIさん、今回は本当に申し訳ありませんでした。

彼がこのような事を引き起こした原因が少しわかってきました。

彼は、皆さんが創造主に望まれていた「物理次元」を経験することをいち早く実践したようです。地球の少し過去の時代にさかのぼり、いくつもの時代を、彼は経験したのですが、どの時代にも多くの苦しみや絶望を味わっています。

自分が創造主でありながら、創造主としての力を発揮することも出来ず、多くの屈辱を味わいました。しかし他の創造主が、誰一人として自分を助けてくれなかった事に大きな怒りを抱いていることが分かりました。

彼は、自分が助けてもらえなかったという怒りを皆さんに対してぶつけていったのでしょうか。」

「という事は、あの創造主が行なった事は、自分が人間として生きた時に、創造主から見放されたことに対する怒りから起こったことなのですか。」

「その様です。

「全てを明らかにする創造主」が調べると、彼は非常に感情的な怒りをため込んでいることが分かりました。表向きはとても冷静なのですが、心の中はまるで見捨てられた子供が泣き叫ぶように、痛々しい感情で満ち溢れていました。

私達は、その感情を癒し、彼が絶望したことに対して謝罪しようと思っています。」

私は、第12評議会の創造主の話聞いていて「え！」と思いました。

「創造主よ、彼に謝罪する必要等ないのではないですか。

彼は自分自身が作った宇宙を体験したまでです。

それが辛いと思うのなら、彼が行なってきた創造も間違いなのです。

彼が多様性のある世界が正しいというのなら、彼はその世界を生きただけですから、皆さんが謝罪する必要は全くありません。

反対に、彼が言っていたように、創造主として大きな試練を乗り越えてこそ、創造主は成長するものだという事を彼自身に言ってください。」

第12評議会の創造主も、私の怒り方を見て困っています。

「彼が、私の子供に大きなプレッシャーをかけたのは、他の創造主が物理世界で成功すると、いつも失敗していた自分の立場がなくなるからです。

他の創造主が地球に降りた時に、大きな障害を与えて、自分と同じように、人生に失敗する無力な創造主でいさせたかっただけではないですか。

あまりにも創造主として無様な結末です。」

「たしかに TAKESHI さんの言うとおりで。

彼も自分が行なった事に対して、創造主としての愛ではなく、怒りと復讐の感情から行ったのであれば、その責任をとらなくてはならないでしょう。」

私は、この「感情に飲み込まれた創造主」が行なった事をもっと詳しく調べるように第12評議会の創造主にお願いしました。

そしてそのあとも、彼が行なった事がどんどん明るみに出てきましたが、あまりにも横暴な事がおこなわれていたので創造主達も驚いています。

私も、あまりにも細かいことが多く、そのすべてを報告することも出来ませんので、次の話題に行く事にしましょう。

第4章 生まれてくる子供の生命が危ない！

PART 1 生まれてくる子供の危機

私達は、しばらくの間、この第11評議会の「感情に飲み込まれた創造主」が仕掛けた罠やトラブルの処理をして過ごしていました。

その間にも、子供の出産時期はどんどん近づいてきます。

子供が生まれるまでに、地球と宇宙のアセンションを妨害するために、私達の宇宙に介入してこようとする他の宇宙の創造主やダークピープル達を処理しなければなりません。

第11評議会の創造主達も、アセンションが遅れているのは、自分達の責任であると痛感し、スターピープル達の活動を支援しています。

そして11日、美樹さんにも陣痛らしき痛みが定期的にかかるようになりました。

私達は病院に行き、産科の先生の検診を受け、子供の状態を調べてもらいます。

子供の成長は、身長が56cmほどで、体重は2700gに増えてきましたので、ほとんど問題はないように思えます。

先生も、子供の様子をモニターで見ながら、体重は少し軽いようですが、身長が高くスラっとした赤ちゃんですよ、と言ってくれます。

子供も、もうすぐ生まれる準備をしているようです。

そして11日の夜に、大きな痛みが来たので病院に行き、本格的な陣痛が始まるのを待ちますが、その夜は出産には至りませんでした。

クリニックの病室でその夜は過ごしたのですが、本来の出産の予定日は1月15日でしたので、出産は未だだろうという事で、美樹さんは家に帰る事になりました。

美樹さんが帰る直前に、クリニックの先生が、子供に少し異常が起きているのを見つけました。

子供の呼吸が正常ではない事を示すデータが見つかり、自宅へ帰る事をやめてクリニックにそのまま入院して様子を見ることになりました。

私もその話を聞いて、大丈夫かなと思ったのですが、産科の先生にお任せすることにしました。

もちろん、私達の治療専門のスターピープルであるクワトロ星人にもしっかり守護をお願いすることにして私は、職場でのんびりとしていました。

ところが子供がとても苦しそうな状態だという電話が美樹さんから入りました。

「TAKESHIさん、子供が、呼吸ができないと言って苦しんでいるみたい。

どうしたらいいかしら、お腹もとても重たくて、きりきりと痛みが続いているの。」

私は、「しまった！」と思いました。

あの第11評議会の「感情に飲み込まれた創造主」で終わりだと思っていたのですが、地球のアセンションを邪魔しようと考えている創造主は、まだほかにいたようです。

地球のアセンションにとって、なくてはならない私達の子供の出産に合わせて攻撃をしてきたようです。

私は、車に乗って急いで病院に向かいますが、私の職場から病院までは1時間くらいかかります。

私は、この1時間の間に、大変なことになってはいけないと思い、車のBluetoothと接続してあるスマホで状況を聞きながら、処理を行ないます。

「ロッド星人、グルナレッド、スターピープル達、そして各評議会の創造主達よ、すぐに出てきてください。美樹さんのお腹の中の子供が苦しんでいますので、すぐに原因を調べてください。」

様々なスターピープル達が一斉にやってきてくれました。

私はすぐに、ピカフラッシュに美樹さんのお腹のエネルギーを調べてもらい、それがどこからやってきているのかを調べます。

エネルギーを辿っていくと、今迄見たこともないような存在が現われてきました。

雰囲気と言うと昔の陰陽道の行者のような姿をしていますが、どうもこちらの世界の存在ではないようです。

すぐに第10評議会、第11評議会の創造主に調べてもらおうと、やはり「混乱の宇宙を作った創造主」が作った宇宙のひとつからこちらの世界にきているようです。

しかも、地球の物理世界の事を良く知っていますので、もしかしたら、この陰陽道の行者の意識を他の宇宙の存在が乗っ取っているのかもしれない。

彼は、現実世界に存在し、闇の力を使ってお腹の中の子供の生命力を奪っているようです。

お腹の中の子供の意識が少しずつ遠くなります。

産科の先生が、子供の呼吸に問題があるといったのは、この行者の様な存在が、子供の呼吸を妨げているのかもしれない。

私は、創造主にお願いして、この行者の様な存在の力を封じてもらいます。

彼が、子供に対して危害を加えることができないようにすることが先決です。

第1評議から第3評議会の創造主達が、力をあわせて、この行者の力を抑え込みます。

すると、子供の意識が少しずつ戻ってきたようです。

「TAKESHIさん、少し楽になってきたわ、

子供の呼吸もちよっと戻ってきたみたい」

創造主達が美樹さんに光を送ると、今度は美樹さんのお腹を取り囲むように黒いエネルギーが浮かび上がってきました。

まるで、子供を覆い隠すように、黒いエネルギーが美樹さんの体の中に入り込み、子供を苦しめているようです。

これは急がないと子供の命が危ないようです。

「創造主よ、この黒いエネルギーを速くとり除いてください。

子供の命が危ないのです。」

いくつもの評議会の創造主達が力を合わせて光を送っていますが黒いエネルギーは、美樹さんの体から消え去るどころか、ますます強力になって子供を苦しめています。

私の中で、車を運転しながら、子供の事を考えると焦る気持ちが強くなりますが、ここで、交通事故などを起こしては、さらに大変な事になります。

大きく深呼吸して、第12評議会の創造主を呼びだします。

「第12評議会の創造主よ、私達は今、大変な窮地に立たされています。

どうか助けてもらえませんか、」

「そうですね、これから生まれてくる子供に大変な危機が訪れているようです。

あなた方の力になれることがあれば、お手伝いしましょう。

私たちはどうしたらよいですか。」

「先ずこの黒いエネルギーの正体を知りたいのですが、この黒いエネルギーは、第11評議会の創造主である「感情に飲み込まれた創造主」が送っている物ですか、」

第12評議会の創造主は少し調べてから答えます。

「そうですね、彼の中にもこのエネルギーは流れていますが、彼が犯人ではないようです。」

「そうですか、このエネルギーは、とても高次の創造主から送られているようです。

今ピカフラッシュが探しているのですが、どうしても先が閉ざされて見つからないのです。

ピカフラッシュの道を開いてあげてください。」

第12評議会の創造主は、黒い闇のエネルギーを調べているピカフラッシュの行く先を光で照らします。

するとピカフラッシュは、第11評議会を通り抜けて、第12評議会の創造主の元へと走っていくではありませんか、この黒い闇のエネルギーは、第12評議会の創造主から送られてきたようです

しかし、そこまで来るとピカフラッシュも立ち止まってしまいました。

きっとこのことを仕掛けた創造主が、行く先を閉ざしてしまったようです。

さすがにピカフラッシュも、第12評議会の創造主が相手では、エネルギーラインを追いかけることも困難なようです。

第12評議会の創造主も、ピカフラッシュが自分たちの元まで来たことで、自分達の中の誰が、このようなことを仕掛けたのだろうと混乱して、なおさらエネルギーのラインが見えづらくなっているようです。

私は、第13評議会の創造主にお願いすることにしました。

「どうか第13評議会の創造主よ、私たちを助けてください。

急がないと、皆さんが地上に降ろす計画をしていた創造主の子供の命が奪われてしまいます。

子供の命を助けてあげてください。」

「それでは私たちは何をしたらよいのですか、」

と第13評議会の創造主は答えました。

「子供の命を危うくするために黒いエネルギーで母体の機能をおかしくしているエネルギーがどの創造主から発せられているのか調べたいのです。

ピカフラッシュは、物理世界の存在を使って、地上にこのエネルギーを送っている者が第12評議会の中にいることを突き止めたのですが、そのあとは創造主に邪魔されて、相手を特定できないのです。

第12評議会の創造主の力を一度、すべて封じてもらえませんか、そうすると誰がこのことを仕掛けているのかわかると思うのですが、」

私は、第13評議会の創造主に懇願します。

「わかりました、それでは第12評議会の創造主達の力を封じましょう。」

第13評議会の創造主は、そのようにいうと第12評議会の創造主たちを包んでいる光の流れを閉ざしました。私たちの前に、存在していたいくつもの光のラインが消え去り、ピカフラッシュの前に1本の光のラインが残りました。

ピカフラッシュは急いで走りだし、1人の創造主のもとにたどり着きました。

PART 2 「すべての創造主を指導する創造主」の考え

ピカフラッシュが行き着いた先の創造主をみて、創造主の誰もが驚きました。

彼は、すべての創造主の父親的な存在であり、今まで多くの創造主を生み出し指導してきた創造主でした。

彼は、多くの創造主から敬愛され、創造主にとって憧れであり目標とされている創造主です。

さすがに、私と深い関係にある創造主さえも、ピカフラッシュが何か間違えたのではないかと調べています。

私はためらいがちに、「すべての創造主を指導する創造主」と話をすることにしました。

今まで私が調べてきた存在は、どこかで問題を抱えているような創造主でしたので、その罪を暴くことは決して難しくありませんでした。

しかし今回は、私たちの創造主の系列の中でももっとも高い位置にあり、すべての創造主を指導する非の打ちどころがない立派な創造主様ですので、私もなんといったらよいか言葉に詰まってしまいます。

「まさか、あなたのような偉大な創造主様が、創造主としてのスピリットを持って生まれてくる子供の命を奪う事をなさるとは思えないのですが、いったいどうなっているのでしょうか、教えてください。」

「すべての創造主を指導する創造主」は平然とした態度で、自分にも少しも不正などがない、という表情をしています。

「私は、多くの創造主を生み指導する立場のものですから、そのような物理的な世界には関わりがありません。」

「あなたは、第11評議会の「感情に飲み込まれた創造主」とともに、地球と宇宙のアセンションに対して何かしらの妨害活動を行いませんでしたか、第13評議会の創造主の前で正直に言ってもらえませんか。」

私の問いかけに多くの創造主たちが固唾をのんで見守っています。

もし、「すべての創造主を指導する創造主」までもが、アセンションを妨害していたとなると、大変な衝撃が走ることでしょう。

「私たちは、おそらく TAKESHI さんとは異なった考えを持っていると思います。

あなたは、地球の物理世界の見方しかできませんから、地球と宇宙の創造を一つの方向でしか考えることができないのです。

しかし、この宇宙はもっと多様性のあるものです。

そのことが理解できないと、それこそ偏った宇宙しか作ることはできません。」

「確かに多様性は必要です。

それが宇宙や創造主を成長させる原動力であることも理解できますが、物理世界は皆さんが考えているように自由でもなく多様性を許容されたものでもありません。

地球に生きる多くの人々がダークピープルや、彼らを操る創造主たちによって自由を奪われ、スピリットの一部をとらえられたりしています。

そのような状況から、地球に生きる人々、宇宙に生きる多くの生命たち、そしてそれを司ってきた創造主たちを適切な状況に導いていくのが、地球のアセンションだったのではないですか。」

「今起こっていることだけを考えて、物事を対処しようというのは、刹那的な考え方であり、遠い未来を見据えたものではありません。」

あなたは生まれて何年生きてきましたか、たかだか60年でしょう、その60年の経験でいったい何がわかる
というのですか、

私たちは、何10億年、いえ何百億年も生きてこの宇宙を創造し見続けているのです。

この宇宙が成長するために、何が必要か、創造主が新たな創造を行うときには、いったいどうすればよいのか、
私たちは、あなたが想像もできないような長い期間生きて経験を積んで、行動しているのです。」

「だからと言って、スターピープルを闇の世界に閉じ込めたり、異なる宇宙を勝手に他の宇宙と交りあわせたりして、一つの宇宙に生きる人々を混乱させることは、創造主としてあるまじきことではないのでしょうか。」

「いえ、そのことを通して、あなた方が学びを得、成長することができたら、それは正しかったことなのです。

おかげで、あなたは、肉体をもちながら、この第12評議会までやってきました。

通常の人であれば、第1評議会の創造主やスターピープルと出会うことさえもできないのに、多くのダークピープルや創造主のおかげで、ここまで来れたのです。

それこそ、あなたが悪だと追及していることのおかげで、あなたは成長できたのですよ。

これがまさに未来を見る、ということなのです。

私たちに取ってはまだまだ小さいことですが、そのことを経験したことで今のあなたがあるのです。

これも宇宙の多様性によるものです。」

「それでは、私が今まで多くの創造主を光に帰してきましたが、それも間違いだったというのですか。」

「ある意味そうでしょうね。

彼らは彼らの役目があって存在していました。

もちろんその役目とは、様々なレベルがあります。

皆さんのような地球人やスターピープル達を指導し導くために、皆さんに試練を与えるものもいれば、創造主を育てるために、あえて破壊的な行動を起こす創造主もいます。

また多様性のある宇宙を創るために、交り合う宇宙もあります。

それぞれ代償はありますが、将来的には、その代償をはるかに超える素晴らしい成長をもたらされるのです。

あなたが行ってきた事は、人々にとっても創造主にとっても、そして宇宙にとっても多様性を許さず、ただ自分たちの身を守るための保身的な行為であるといってもよいものです。

創造主は、もっとダイナミックで創造的であるとともに破壊的なものなのです。

創造と破壊は常にひとつです。

あなたは、そのことを理解せずに、創造主の破壊的な一面を奪い取ってきました。

その様な宇宙からは、新たな創造性は生まれません。」

さすがに「すべての創造主を指導する創造主」です。

私の考えなどはお見通しで、私に反論する余地など与えません。

今まで、私と共に歩んできた創造主も、「すべての創造主を指導する創造主」の話を聞いて、私たちが行ってきたことが間違いだったのではないかと考える創造主も出てきています。

これでは、子供を救うどころか、私達のアセンションさえも振り出しに戻ってしまいます。

美樹さんから、おなかの中の子供の状態がさらに悪くなってきたことを告げられます。

このまま、「すべての創造主を指導する創造主」と話をしても、時間だけが過ぎて行って子供の命が危なくなってしまう。

私はその時、「はっ！」と気づきました。

「すべての創造主を指導する創造主」は、私と口論をしながら、子供の命が失われるための時間稼ぎをしているのではないかと思ったのです。

「あなたの考えは分かりました。

確かに私は、現在人間として生きていますから、この物理世界を中心としてしか物事が見えません。

しかし、この物理世界は、創造主が生み出した宇宙の結果です。

私は、この物理宇宙を見て、皆さんの仕事が適切であったか判断したいと思います。

またそうすることが、第13評議会の創造主からこの地球に使わされた私の使命であると考えています。」

多くの創造主たちに新たに緊張が走ります。

「それでは、「すべての創造主を指導する創造主」よ、もう一度聞きますが、

私たちの子供であり、創造主の一部である子供の生命が、あなたと「感情に飲み込まれた創造主」から放たれた闇のエネルギーによって、その命を奪われようとしています。このことに関してあなたは一切関係がないと、第13評議会の創造主の前で誓うことができますか。」

「すべての創造主を指導する創造主」の表情が苦々しい表情に変わります。

「このことを行っているのは、「感情に飲み込まれた創造主」と物理次元の存在ですから、私が行っているわけではありません。」

「あなたはこのことを知っていて、「感情に飲み込まれた創造主」に許可を与えたのですか。」

「私は、下の創造主が、新たな創造のために必要な事だといえば、そのことを許可しないわけにはいきません。私は、物理世界のことあまり興味がありませんから。」

「ということは、あなたは物理世界がどのような状態になっても自分とは無関係であると言いたいのですね。それは創造主として、非常に無責任なことなのではないですか。」

「無責任というよりも、私はそのような立場にないということです。」

「それでは、私たちの子供につながっているあなたのエネルギーは何を意味しているのですか。

あなたがただ許可を与えただけならば、このエネルギーはあなたまでつながっていないはずですが、このエネルギーは、「感情に飲み込まれた創造主」を乗り越えて、あなたのところまでつながっていましたし、第11評議会の創造主が、このエネルギーの除去を行いました却不能でした。

ということは、このエネルギーは、第12評議会の創造主である「すべての創造主を指導する創造主」のものであるということです。

もちろん、そのことを実行しているのは、物理世界に近い存在達ですが、彼らはあなたの意志とエネルギーを使って、このことを行っているということです。」

「すべての創造主を指導する創造主」は、とても悔しそうな顔をしています。

「あなた自身もっと大きな学びを受け取ることが大切です。

そのために私は、下の創造主たちに許可を出しました。」

「やはりそうでしたか、それではすぐにこのエネルギーを取り除いてもらえませんか。

もう時間の猶予はないのです。」

「私にはそれはできません。

あなたは光に帰された多くの創造主たちの思いをもっと知る必要があるからです。」

私は第13評議会の創造主にお願いをしました。

私の声はもう涙声になっているようです。

「第13評議会の創造主よ、こうしている間にも、子供の命が弱ってきています。

子供を苦しめているエネルギーが、この「すべての創造主を指導する創造主」につながっている以上、彼を光に帰して、このエネルギーのラインを断ち切ってもらえませんか。」

私の言葉に多くの創造主が驚きの声をあげました。

まさか自分たちを生み出し育ててくれた創造主が、人間1人のために光に帰されることはありえないと、思っているようです。

すべての創造主が、第13評議会の創造主がどのような対応を行うか注目しています。

「TAKESHIさん、わかりました。

「すべての創造主を指導する創造主」が行ったことは、創造主としてあるまじき行為であると、私たちも判断しました。

「すべての創造主を指導する創造主」を、一度私達のもとに帰すことにしましょう。」

一番驚いていたのは、「すべての創造主を指導する創造主」です。

今まで多くの創造主を生みだし育ててきた自分が、このような事で責任を問われ、光に帰されることはありえないと思っていたようです。

確かに、この創造主と私たち家族の重要性を比べたら、全く問題にはならないことです。

第13評議会の創造主の光が「すべての創造主を指導する創造主」を包み、彼は光に帰っていきました。

多くの創造主が「すべての創造主を指導する創造主」を失った事に驚きを隠すことはできません。

第13評議会の創造主が、多くの創造主に向かって言いました。

「創造主達よ、「すべての創造主を指導する創造主」を失った事に、苦しみと悲しみを覚える必要はない。

彼はもう光に変える時期が来たというだけだ。

彼が行ったことは、あまりにも偉大で素晴らしかった。

しかし、彼はあまりにも多様性にこだわりすぎて、生み出してはいけないものを生み出し、行ってはいけないことをしてしまったようです。

私達には、そのことに気付いていましたが、皆さんは、とうてい理解できることではありません。

しかし、今、彼が独断的に行ってきたことが表に現れてきました。

私達は、これ以上問題がおきないように、「すべての創造主を指導する創造主」を光に帰すことにします。」

どうやら、第13評議会の創造主は、「すべての創造主を指導する創造主」が起こしていた問題をあらかじめ把握していたようですが証拠がなく光の世界に帰すことができなかつたようです。

PART 3 命を懸けた出産

「すべての創造主を指導する創造主」が光に帰るとともに、美樹さんのお腹に渦巻いていた黒いエネルギーが少しずつ薄くなっていきます。

「第12評議会とすべての評議会の創造主よ、協力してこのエネルギーを取り除いてください。」

各評議会の創造主たちが、自分たちの世界から次々と光を下していきました。

そのころようやく、私も美樹さんが入院しているクリニックに到着しました。

急いで2階に上がると、彼女は分娩台の上に寝かされ、機械が逐次彼女のおなかと子供の状態を知らせているようです。

美樹さんは、私が来たことに安心したのか、笑顔を浮かべます。

私は彼女のベッドの横に座り、彼女のお腹に手を当て祈ります。

「美樹さん、おなかの具合はどうか、」

「「すべての創造主を指導する創造主」の力が消えてから、おなかを取り巻いていた黒いエネルギーが少しずつ体から離れていくような感じがします。

子供の呼吸が少しだけ戻ってきたようです。」

10分ほどするとおなかの黒いエネルギーはだいぶ消えて行ったようです。

時折看護師さんたちも部屋に入ってきて、美樹さんのことを心配そうに見守っています。

女医さんの一人も、子供のデータの様子を見て困った顔をしながら、もしかしたら帝王切開になるかもしれないと言い始めました。

するとそこに1人の男性の医者の方が病室に入ってきました。

美樹さんも始めてみる先生のようにです。

彼はデータを調べるとすぐに、女医さんと看護師さんたちに帝王切開の手術を行うことを指示しました。

「すぐに帝王切開を始めます。

急いで取り出さないと子供の命が危ないので、至急準備に入ってください。」

看護師さんや女医さんの表情が一瞬にして変わり、処置室の明かりがつけられすぐに手術の準備が始まりました。

そして女医さんから私に報告がありました。

「奥様の状態を調べたところ、胎盤不全で子供に十分な酸素と栄養がっていないことがわかりました。

このままでは子供の命があぶないので、緊急帝王切開を行いますので、手術に同意する署名をお願いします。」

私は帝王切開の手術の危険性などを聞いた後に、手術の同意書にサインをしました。

そしてしばらくして、美樹さんの手術が始まりました。

私は、誰もいない深夜の待合室で、手術の成功を祈ることにしました。

突然の展開で私達もびっくりしたのですが、すでにその兆候はお昼頃からあり、女医さんも心配していたようですが、おそらく子供の命を狙う存在から意識をコントロールされて何もできなかったようです。

「すべての創造主を指導する創造主」が光に帰り、この黒いエネルギーが美樹さんから離れたことで、女医さんたちの意識も正常なものに戻り、美樹さんとお腹の子供が危ないことに改めて気付いたようです。

もしかしたら帝王切開になるかもしれないということで、男性の産婦人科医が呼ばれていたようですが、もし彼が来ていなければ、帝王切開に踏み切ることができず、子供の命も危なかったかもしれません。

40分ほど待合室で待っていると、手術が終わったようです。

生まれたばかりの子供を抱いた看護婦さんが、私に子供を見せに来てくれました。

「おめでとうございます。素敵な女の子です。

体重は2346gでした。」

生まれたばかりの子供は、元気よく泣いています。

私は、無事に子供が生まれてきたことに深く感謝をささげます。

子供はすぐに処置を行われ、新生児室のベッドの中に入れられ、安らいだ顔で手足を動かしています。するとそこに、まだ麻酔が効いてぼっとしたままの美樹さんが、移動ベッドに乗せられてやってきました。彼女ははっきりとしない意識の中で、子供が元気に動いている様子を見て安心したようです。

翌日、美樹さんも落ち着いてきたようです。

体はまだ十分には動きませんが、子供が無事に生まれたことで安心したようです。

しかし、疑問は残ります。

帝王切開の前日の検診の時は、2700gで身長も56cmくらいあり、1週間ごとに200g位ずつおおきくなっている、といわれていたので安心したのですが、実際子供が生まれてくると、体重は2346g、身長は45cmしかありませんでした。

しかも、胎盤が十分に機能していない胎盤不全という状態で、これ以上子供がお腹の中にいたら、酸素欠乏で死んでしまう直前のところだったようです。

実際、その子供を見て驚いたのは、いつも美樹さんの検診をしてくれた女医さんでした。

エコーの機械では、立派に育っていた事が報告されていたのですが、実際取り出してみると、とても小さな子でした。

そして、帝王切開してみると、母体は胎盤不全に陥っており、羊水もほとんどなく、子供には十分な酸素や栄養が送られていませんでした。

そして、良好に成育した板どころか、この2週間くらいはほとんど育っていない事がわかりました。

しかも、臍帯も細くて短い臍帯でしたので、通常の出産では、生まれることができないばかりか、途中で産道に引っかかって大変なことになるところでした。

女医さんも、自分の診断とのあまりの違いに驚いています。

美樹さんの検診のために、彼女の部屋に来たときにも、美樹さんに大変申し訳なかったという顔をしています。ロッド星人も、何故このようなことが起きたのか調べて、私達に報告してくれます。

「これは、ダークピープルや手術前に見つけた存在達が、クリニックの機械や女医さんの意識をコントロールして、あたかもお腹の中の子供が健全に育っているように見せていたようです。

彼等は、人の意識だけでなく機械のデータさえもコントロールできるようです。

そしてそれが、私達に分からないように、第12評議会の創造主のエネルギーで隠していたようです。

まったく卑劣としか言いようがない連中です。」

この事に関して、スターピープル達は、創造主の横暴さにあきれてしまっているようです。

私達も、今回のことには大きな恐怖を覚えました。

もし、「すべての創造主を指導する創造主」の行いを明らかにすることができなければ、産婦人科医も子供の異常に気付かず、子供がお腹の中で死んでしまい、美樹さんの命も危なかったかもしれません。

そうなると光の地球は、中心となる創造主をその世界に迎えることができず、崩壊してしまったかもしれません。

「すべての創造主を指導する創造主」達を始め、地球と宇宙のアセンションに反対する創造主の最後の罠が、子供の出産を妨害する事でしたが、本当に奇跡的に私達は、この罠から子供達を守ることができました。

第5章 無機質の宇宙の創造主が仕掛けた罠

PART 1 無機質の宇宙の創造主が仕掛けた罠

子供が無事に生まれて、私達はしばらくの間、喜びを分かち合っていました。これから未だ何が起こるかわからない状態ですので、私達と仲間の創造主は更に守りを固めていきます。

スターピープル達は、アセンションした世界に来た人達が、この世界に適応できるように、感情の開放やネガティブなエネルギーの浄化を行っていますが、なかなか進まないようです。

私は、ロッド星人やアシュタールのエレナさん達と共に、その原因を調べることにしました。

人々の潜在意識やネガティブな感情が集まっている場所をピカフラッシュに探し出してもらいます。

私は、この感情のエネルギーの後ろに隠れている存在がいないか、さらに探査を進めます。

すると、そこに人々のネガティブな感情を操り増幅させるような存在がまた隠れていました。

以前、私達が何度も処理した「情念の女神」の様な存在とその手先となって働いているダークピープル達です。

地球人は、これらの存在によってネガティブな感情が増幅され、お互いが憎しみあい、怒りや争いを生みだしているのです。

そうすることで、ネガティブな感情に飲み込まれた人々は愛のエネルギーをどんどん失ってしまい、常に怒りや憎しみなどの感情を自分の中から噴出させ、自分がいる世界の波動を下げてしまいます。

すると、ダークピープルや異なる世界の創造主達が地球に入り込むためのゲートを開いてしまうことになるのです。

今回も、人々がネガティブな感情に捕らわれることで、ダークピープル達とのつながりができてしまい、その関わりを利用して、異なる宇宙の創造主が光59%の世界に入り込もうとしている事が分かりました。

すぐに私達の宇宙の創造主とスターピープル達はその場所に向かい、詳しく調べると「無機質の宇宙」の創造主達が、人々のネガティブなエネルギーを高め、自分達の波動と同調させ、ゲートを開こうとしていたようです。

私達はすぐに、第8から第11評議会の創造主に来てもらい、この「無機質の宇宙」の創造主とダークピープル達を光に返してもらい、そのゲートを閉じてもらいました。

しかし、スターピープルと創造主達に、光59%以外の地球を調べてもらうと、もうすでに他の世界では「無機質の宇宙」の創造主達とダークピープル達が入り込んでいました。

私達は手分けして、彼らが何をしているのか調べると、彼らがまるで学校のようなものを作り、人々の意識を捕えてその場所で教育を行っているのです。

教育と言っても、彼らの教育は、人々から愛の意識を奪い、冷酷な人間を育てるための教育ですから、許されるはずありません。

「無機質の宇宙」とは、愛や喜びのない世界です。

人々もまるで感情をなくした機械のように生きている宇宙のようで、温かみや優しさがなく、愛を憎んでいるようなところもあります。

この宇宙の創造主は、愛は不要だと考えていますので、彼らが関わってくると、人々から愛のエネルギーがどんどん抜き取られていきます。

この宇宙を作った「感情に飲み込まれた創造主」は、自分が地球に降りて生きていた時に、愛によって深く傷ついた経験があるために、愛を憎むようになってしまい、このような宇宙を作ったのだと思われます。

私達は、第1評議会だけでなく第2、第3、そして第4評議会のスターピープル達にも手伝ってもらい、光59%以外の世界でも同じような施設を探し出し、捕えられているスピリットを助け出すことにしました。

今まで地球にいたダークピープル達の多くは、光40%台の世界からこちらの世界に来ることはできなくなっていますが、異なる宇宙のダークピープル達は、人の意識と波長が合いさえすれば、光51%以上の世界にも簡単に入ることができるようです。

しかも、彼らは、今まで地球にいたダークピープルよりもはるかに高い叡智を持っているので、私達の物理世界を守る第1評議会、第2評議会では、彼らの活動を阻止することは困難になってきましたので、私達も第3評議会、第4評議会のスターピープル達に手伝ってもらいながら仕事をしていきます。

そこにロッド星人から連絡が入りました。

「TAKESHIさん、やはり彼らは、光51%以上の世界で、いくつも同じような施設を作り、人々のスピリットを捕えて洗脳を行っていました。

ところが、その中に人間だけでなくスターピープル達も一部混じっていました。」

「という事は、スターピープル達も、彼等に捕えられていたという事ですか。」

「そうです、主に第1評議会の実行部隊が捕えられていました。」

これは大変なことです。

彼らは、地球のアセンションを手助けする為に、他の星々から地球にやってきてくれたスターピープルです。彼等に、これ以上迷惑はかけられません。

私は、地球のアセンションの実行部隊のリーダーであるエレナさんと第1評議会のスターピープルのリーダー達を呼びだしました。

第1評議会のリーダー達もロッド星人から連絡が入ったようです。

すぐにリーダー達が集まってきました。

「実は地球の人間だけでなく、アセンションの実行部隊も「無機質の宇宙」の創造主達の罠にはまってしまったようです。

これから救出を試みたいと思います。」

第1評議会のリーダーであるアルテミスも心配そうな顔で私達を見守っています。

第3評議会、第4評議会のスターピープル達を中心としたグループで「無機質の宇宙」の創造主が作り上げた施設を探索し、捕えられている人間とスターピープル達のスピリットを開放していきます。

中には、意識をコントロールされて、自分達の役目を思い出せないスターピープルや愛を奪われて無気力になったスターピープル達もいますので、すぐに宇宙連合の救助班のもとに送ります。

私は、エレナさんと話をしています。

「エレナさん、地球のアセンションのために活躍しているスターピープル達の様子はどうか、他におかしいところはありませんか。」

「そうですね、私達のグループは、さほど問題がないようですが、この地球には、私達のグループ以外のスターピープル達もたくさん来ているので、他のグループはどうかしら？」

私は一瞬、え！と思いました。

「この地球にアセンションの仕事のために、来ているグループは、皆さんエレナさんの方で管理しているのではないのですか、」

「いえ、私達は地球の防衛やアセンションの全体的な仕事を行っていますが、私たちとは別に動いているグループもいくつかありますので、彼らの事は、私では把握できていません。」

私は、どうも思い違いをしていたようです。

「それはどんなグループで、どのような仕事をしているのですか？」

「地球の環境を守る為に働いているグループや科学技術を進化させる為に働いているグループ、医療を進化させるために働いているグループなどもたくさん地球に入ってきています。

彼らは、それぞれのリーダーのもとに活動しています。」

「そのリーダー達はどの評議会ですか。」

「ほとんどが第1評議会です。」

私は、しまった！と思いました。

「エレナさん、そして第1評議会の代表達よ、すぐに各グループのリーダーと中心メンバーをここに集めてもらえませんか、彼らがどのような状態かすぐにしらべましょう。」

しばらくすると、様々な種族のスターピープル達が集まってきました。

その中で半数位のスターピープルとは私も顔なじみで、私のスターピープル達のメッセージ集にも登場してくれているスターピープル達ですが、私達が知らない種族もたくさんいます。

私は、集まってくれたスターピープル達に話をします。

「この地球と宇宙のアセンションのために、この地球に集まり、仕事をしてくださっているスターピープルの皆さん、本当にありがとうございます。

地球に住む者として、皆さんの誠意に心から感謝を述べたいと思います。

実は「無機質の宇宙」の創造主とダークピープルによって、人間のみならずスターピープル達もスピリットを捕えられるという事件が、最近起こっています。

私は、皆さんがその様なことに巻き込まれないようにお守りしたいと思います。

しかし、相手は周到に罠をかけてきますので、もうすでにダークピープル達によって皆さんのスピリットが捕えられている可能性もあります。

私達はここに集まって頂いた皆さんのご様子から、まず調べさせていただきたいと思います。

全てが、皆さんを守護するためのことでもありますので、ご了承ください。」

もちろん地球のアセンションために集まってくれたスターピープル達は、私の言葉に多く者が納得してくれたようです。

すぐにロッド星人やグルナレッド、そしてネターシャ達が調べ始めました。

すると、大変なことに、いくつかのスターピープル達の種族に「無機質の宇宙」のダークピープル達が入り込んでいました。

特に狙われているのは、地球の人々のエネルギーの調整を行うグループ、科学技術や医療技術をサポートするグループ、地球の環境を適正なものにするグループのスターピープル達です。

彼らが行っている事は、この地球のアセンションにとってはとても重要なことばかりで、この地球の物理世界に大きく影響する事してきます。

「無機質の宇宙」の創造主達は、その様な事が分かったうえで、スターピープル達を捕え、そのスピリットを操作して地球のアセンションを妨害しようとしているのです。

私達はすぐに、それらのグループのもとに、ネターシャやグルナレッド達を派遣し、スターピープルから「無機質の宇宙」のダークピープル達のエネルギーをとり除き、彼らの精神コントロールからスターピープル達を自由にします。

ロッド星人は、この状況を見て私に言いました。

「地球のアセンションをサポートするスターピープルの意識にダークピープルが介入するとは想像もしていませんでした。

しかし、アセンションした世界でも、人々の感情がこれだけ大きく噴出して、エネルギー的な混乱が起きたり、美樹さんを始め多くの光を持った子供達の出産が非常に危険なものになった事も、彼らが、スターピープルの意識をコントロールしていた事が原因だったかもしれません。

これは、私達も気をつけなければなりません。」

私は、第1評議会のスターピープル達と相談して、今回「無機質の宇宙」のダークピープル達から狙われたグループは、私達のグループに加わってもらう事にしました。

そして、ロッド星人やグルナレッド達が常に見守り、上位の評議会のスターピープル達によって守護してもらうことにしました。

第1評議会のスターピープルも、自分達の仲間達が意識をコントロールされてしまい、適切な仕事をしていなかったことに大きなショックを受けています。

「私達も、自分達が、「無機質の宇宙」のダークピープルからコントロールを受けていたことに、とても大きな驚きを感じています。

しかし、私たちよりも、彼らの方が大きな力を持っていることも確かなので、第2評議会や第3評議会のスターピープルの皆さんから、守って頂けるならば、ぜひお願いしたいと思います。」

第1評議会のスターピープル達も、さすがに慎重になっています。

今回の地球のアセンションでは、闇に落ちた創造主や異なる宇宙の創造主達から様々な妨害や攻撃が第1評議会のスターピープルや私達に対して何度も行われ、多くのスターピープル達が傷ついているからです。

PART 2 ブラック・ウイルス&ブラック・ソウル

しかし、「無機質の宇宙」の創造主が行なった事は、これだけではありませんでした。

スターピープルに入り込んでいるダークピープルの動きを調べていると、何かエネルギー体のようなものを、地球の物理世界にまき散らしている事が分かりました。

すぐにそれらのエネルギーを集めて調べると、そのエネルギー体は、まるでインフルエンザのウイルスのように、人々の体や意識体の中に入り込んで言っていることが分かりました。

そして、そのウイルスの様なエネルギー体が入り込んだ人々は、愛を見失い、怒りや憎しみの感情が高まっていることも分かりました。

現在、光51%以上の世界では、人々の感情エネルギーの浄化を継続して行っていますが、人々の体の中にこのようなエネルギー体が入り込み、人々の感情を狂わしていたとするならば、どれほど感情の浄化を行ったとしても、それが終わるはずはありません。

そして人々がこのような感情を持ったとすれば、人々の愛の度合いが低くなり、人々はスターピープルよりもダークピープルとの親和性が強くなります。

そしてダークピープルとの一体感が生まれ、人々がダークピープルと一体になっていきます。

すると地球に生きる人々は、異なる宇宙の創造主が入り込んでくるためのゲートとして利用されるようになるのです。

私たちは、第4評議会のネターシャ達や上位の評議会の科学技術の専門のスターピープル達の力を借りて、このウイルスのようなエネルギーの駆除に努めましたが、このウイルスによって理性を狂わされ、感情のとりこになってしまった人は、もう手遅れの様です。

エレナさんが残念そうな顔押して言います。

「TAKESHIさん、私達も、上位のスターピープルに手伝ってもらい、このエネルギーの駆除に努めました。たとえ、このウイルスに感染したとしても、本人がそのような感情から決別したいと思っている人は、このエネルギーと切り離すことができましたが、そうでない人は、このエネルギーによって、自分の理性を失い愛の度数を下げてしまいました。

その様な人は、もう光51%以上の世界にいる事はできませんので、光50%以下の世界に分離するしか方法がないようですが、よろしいですか。」

私は起きくため息をつきます。

「それは、もう仕方がないことでしょうね。

それで、どのくらいの数の人たちが、このウイルスの影響でディセンションしていくのですか。」

「おそらく1割程度だと思います。」

「1割か、それは大きいですね。

どんどん光の世界に向かう人が少なくなってきましたね。」

その時ロッド星人から緊急連絡が入りました。

「TAKESHIさん、ブラック・ウイルスの処理をしていたら、さらに厄介な存在が見つかりました。

それは、エネルギーなのですが意識を持っているエネルギーです。

そして人の肉体的な意識の中に入り込み、人々をコントロールするようです。」

思わず私とエレナさんは顔を見合わせました。

「TAKESHIさん、私たちはブラック・ウイルスだけでも、うまく処理できずに困っているのに、さらに意識を持ったエネルギー体まで関わってきたなんてどうしましょう。」

ロッド星人も私たちの前に現れた新しい敵のことを報告してくれます。

「この意識を持ったエネルギー達は、光51%以上の世界に来ている人々の中に隠れていたようです。

今迄は現れてこなかったのが、私達も見つけることができなかったのですが、アセンションした世界に人々が移り変わってから、彼らは動き出すように設定されていたようです。

この存在は、人々の意識の中に入り込み、人々の理性や愛のエネルギーをむしばみ、乱暴で攻撃的な性格に変えていく働きがあるようです。

この意識体も、「無機質の宇宙」の創造主たちが作ったようです。」

「ということは、このブラック・エネルギーとブラック・ソウルとでも呼ぶべきものは、協調して働いているということでしょうか。」

「もちろんそうです。

最初に、ブラック・エネルギーに感染させて、人々の愛の度を下げ、憎しみや怒りの感情を持つようになれば、ブラック・ソウルが、その人の中に入り込みやすくなります。

そしてブラック・ソウルが、その人の意識をのっとなってしまえば、その人は「無機質の宇宙」のダークピープルになってしまうのです。

そのあとは、「無機質の宇宙」のダークピープルとなった人々のゲートを使って、「無機質の宇宙」の創造主達が私たちの宇宙に入り込み、世界を征服していくでしょう。」

エレナさんがため息をついています

「これが「無機質の宇宙」の創造主達が他の宇宙を征服するために仕組んだ手順なのでしょうね。

これは地球だけのことではないかもしれませんので、至急評議会に連絡しましょう。

それにしても、早く解決策を見つけないと地球のアセンションした世界もどんどん「無機質の宇宙」に飲み込まれていきます。」

「しかしなぜ、この時期になってこのブラック・ウイルスとブラック・ソウルが、私達が発見できるように浮かび上がってきたのですか。」

私の問いにロッド星人が答えます。

「おそらく第13評議会の創造主達の光が、次第に降りてきて物理世界を満たしていったために、彼らが隠れることができなくなって浮かび上がってきたのでしょう。

「無機質の宇宙」の創造主達も、私達に見つかって上位の創造主によって処理されてしまいましたので、彼らを隠していた力が失われていったのです。」

エレナさんたちは、各評議会のスターピープルのリーダー達にこのことを報告し、地球だけでなく他の星々や銀河でも同じことが起きていないか調べるように相談しているようです。

もしかしたら、このブラック・ウイルスとブラック・ソウルは、私達の中にも、入り込んでいるかもしれません。

私も会社のスタッフが次々と辞め、業績が著しく悪化してしまい会社が倒産するのではないかと心配ばかりしています。

ロッド星人が、私の心配している様子を見て言いました。

「彼らは、TAKESHI さんが、現実世界で困ってしまえば、アセンションの仕事もはかどらなくなることを知っていて、会社の人々にも入り込み仕事を辞めさせたり、トラブルを起こして、TAKESHI さんの仕事を妨害しているのです。」

私は、高次の評議会の創造主を呼び出しました。

「実は、地球でも大変なことが起きています。

「無機質の宇宙」の創造主が仕掛けたブラック・ウイルス&ブラック・ソウルの影響で多くの地球人が困っています。

私たちにとっても、まったく未知の存在ですので、この問題を解決する方法が分かりません。

「無機質の宇宙」の創造主で、この問題に詳しい創造主達から、何か聞き出すことはできませんか、もしくは皆さんのなかで、この問題を解決できる創造主はいませんか。」

現在、「無機質の宇宙」は、第13評議会の創造主によって、他の宇宙にとって好ましくない宇宙であるとされ、彼らの管理下に置かれています。

すでに、ブラック・ウイルス&ブラック・ソウルを作り上げた創造主やダークピープル達は光に帰されてもういないようですが、残された創造主の中から一人だけ、このブラック・ウイルス&ブラック・ソウルの構造などについて詳しく知る創造主が名乗り出てくれました。

「私は「無機質の宇宙」の創造主の一人ですが、多くの創造主が憎しみと怒りにかられ、他の宇宙を侵略していく様子をみて非常に残念に思っていました。

このブラック・ウイルス&ブラック・ソウルも、「無機質の宇宙」の創造主達が、他の宇宙を支配するために作り出したものです。

私たちは、以前からこれらの物の危険性に気づいていましたのですが、これらを作った創造主の横暴な行いをとめることはできませんでした。

このブラック・ウイルス&ブラック・ソウルは通常のスターピープルや創造主では、処理することはできないでしょうから、私たちが知っていることをお教えしますので、皆さんの科学技術を応用して、これらの物の処理にあたってください。」

「無機質の宇宙」の中にも、まともな考え方をする創造主もいたようです。

私たちは、喜んで彼の申し入れを受け、科学技術が得意なスターピープル達との共同研究が始まりました。やがて、ブラック・ウイルス&ブラック・ソウルの構造が明らかにされ、これらの物が、地球からいなくなる日も来るのではないかと思います。

私たちに今できることは、創造主や「愛の源泉」の光を地球の人々に送り、幾度も湧き起こる感情を噴出させ、愛の度数を保つことで、自分の内側から、これらのエネルギーを浄化していくお手伝いをすることです。またこれも、アセンションしていく地球人にとって、自分を成長させるためには行わなければならないことの一つのようです。

PART 3 カオスの宇宙の創造主のたくらみ

新しく生まれた子供が、私たちの家に戻ってきました。

私達は、これから子供と共に新しい家族として生きていきますが、新しく生まれた子供も美樹さんと同じように、探査役の創造主のスピリットを持っていて、生まれてからすぐにこの地球に残る問題を探査し、私達に知らせる働きを担うことになりました。

これが創造主達の計画とはいえ、生まれたばかりの子供まで、そのような危険な任務を負わせるのは、絶対にやめてもらいたいものです。

そのような中、子供が激しく泣き叫びます。

子供のスピリットにつながる創造主から連絡が入りました。

「この地球にさらに新しい宇宙から入ってきたダークピープルが見つかりました。科学技術や医療関連の分野に入り込み、人々をコントロールしているようです。」

私たちはすぐに仲間を集め調べることにしました。

私の子供のスピリットとつながる創造主は、第8評議会の創造主で「宇宙を見渡す創造主」という名前と働きを持っているようです。

私のスピリットとつながる第8評議会の創造主は「すべての働きを持つ創造主」です。

この2人の創造主は、一緒に行動して、宇宙の様々な異変を調べ解決しているようです。

「宇宙を見渡す創造主」は、私たちをある科学研究のための施設に連れて行ってくれました。

その施設を見た美樹さんは急に思い出したように言います。

「私が今朝、夢で見た施設と同じところですよ。」

ここでは、人間の遺伝子や組織を作りかえる実験を行っていたので気持ちが悪い施設だと思っていました。」そんな夢見たら、もっと早くおしえてくれよ！という感じです。

ロッド星人やグルナレッド達が、ここで働いているダークピープル達をとらえ、注意深くこの施設を調べています。

第4評議会のネターシャやさらに上位の評議会のスターピープル達も手伝いに来ているようです。

第1評議会のスターピープル達は、ここにいるダークピープル達のほうが高い能力とパワーを持っているので、安全のために退避してもらいます。

「TAKESHIさん、ここのダークピープルはとても能力が高いダークピープルですよ。」

この施設は、人間の遺伝子を操作して自分たちの遺伝子を入れ込み、人間そのものを作り替えダークピープルにするための施設ですよ。」

そのほかにも、様々なことをこの施設で計画しているようです。」

「このダークピープルも「無機質の宇宙」からきたダークピープルですか。」

彼らの能力はどの程度あるのですか。」

「彼らの能力は、私たちの宇宙でいえば、第2評議会から第3評議会のスターピープルに匹敵します。」

彼らを調べたところ、「無機質の宇宙」からきた存在ではないようですが、私たちも見ることがない存在なので、どこから来たのかは、私達ではわかりません。」

私は上位の評議会の創造主を呼び、このダークピープルを調べてもらいました。

創造主達は、いくつかの宇宙を検証しながら調べているようです。

しばらくして、第11評議会の創造主の1人が報告してくれました。

「彼らが来た宇宙も、やはり「混乱の宇宙を作った創造主」と「感情に飲み込まれた創造主」が作った宇宙の一つでした。」

その宇宙は、私達には隠されていたのですが、非常に問題のある宇宙でした。」

私は美樹さんのビジョンを通して、その宇宙の様子を見ることにしました。

そこは、地球の常識では考えられないような雑然とした世界ですが、狂気じみた行いが横行するまさにカオスのような世界です。

力を持った者は、他の者に対して何をしてもよい、というような考えを持った創造主達が、この宇宙を治めていました。

そして、彼らは自分が気に入った世界があると、様々な方法を駆使してその世界を手に入れようとしています。そして自分たちの好きなように、その宇宙を作り替えていきます。

彼らは、そのことが「宇宙の多様性」であると、「感情に飲み込まれた創造主」達に教えられており、他の宇宙を侵略する事も正しい事であると思っているのです。

「第13評議会の創造主よ、この宇宙はあまりにもひどい宇宙です。

多様性という言葉では、片づける事ができないほどの問題がある宇宙です。

このままでは、多くの地球人が彼らによって、地球人以外の種族に作り替えられ、彼らの部下としてダークピープルにされてしまいます。

そうなると、光の地球に行く人がまた減ってしまいます。」

「TAKESHI さんのいう事も私たちはよく理解できます。

私たちも、このカオスの宇宙の創造主達が行っていることはあまりにもひどいと思います。

この宇宙に関しては、宇宙ごと光に返したほうがよいと、私達は考えていますので、後の処理はお任せください。

皆さんは、地球に入り込んでいるカオスの宇宙のダークピープルや創造主を見つけてください。

彼らも、光に返していきましょう。」

私達は、第13評議会の創造主達が、カオスの宇宙を光に返すことに同意してくれたので一安心です。

「感情に飲み込まれた創造主」や「全ての創造主を指導する創造主」達は、宇宙には多様性が必要だと良く言いますが、彼らがやっている事は、宇宙に生きる一人一人の尊い生命を踏みにじる残虐な侵略行為です。

「混乱の宇宙」に続き「無機質の宇宙」や「カオスの宇宙」と様々な宇宙の創造主やダークピープルが、アセンションした地球を崩壊させるために、様々な罟を仕掛けてくることに、私たちだけでなくアセンションの実行部隊であるスターピープル達も疲れきっていますが、地球を守るために最後まで戦わなければなりません。

スターピープルや下位の評議会の創造主達は、ダークピープルや異なる宇宙の創造主達がこの地上で行ったことの後始末を行うために、今日も飛びだっていきました。

いくら献身的な彼等でも、異なる宇宙の創造主やダークピープル達は、全く未知の存在ですので、彼らがどのような攻撃を行うかわからないまま立ち向かうのは、彼らにとっても大きな不安や恐れを生み出すことでしょう。

私は、そのような彼らの姿を見るたびに、胸が苦しくなります。

彼らの絶え間ない献身を知る地球人があまりにも少なく、アセンションした世界に来た地球人であっても、ダークピープルに利用されてしまう者たちが多いためです。

もっとスターピープル達とともに、地球のために働ける地球人が増えてくれたらよいのですが。

第6章 隠されていた創造主達の野望

PART 1 「すべての創造主を管理する創造主」の出現

1月28日の朝、これから出勤しようとした時に、突然の腹痛に襲われました。昨年入院した時の急性膵炎や胆石の痛みと比べると大した事はなかったのですが、あまり突然のことに私も慌ててしまいました。

私は、立ち上がることもできず、横になったまま、この痛みがどこから来ているのか調べてもらいました。先日まで「無機質の宇宙」や「カオスの宇宙」の創造主とダークピープルの処理をしていましたので、彼らからの復讐である場合も考えられます。

この痛みは、前回の急性膵炎の時の痛みにも似ていますので、私達の宇宙の創造主が関わっているかもしれません。

この時は、私だけでなく美樹さんも、下腹部が痛いといっていますし、子供にも黄疸の症状が強く出ています。私は、ピカフラッシュやスターピープルにお願いして、この痛みの原因となっているエネルギーがどこから来ているか、探してもらいます。

ピカフラッシュは、創造主の評議会をいくつも越えていきます。

そして、創造主達にも道をひらいてもらい、第11評議会まで登って行きました。

そこに現れたのは、今まで第11評議会でも見たことがない創造主です。

私は第11評議会の創造主達に、この創造主の事を聞きましたが、誰も知らないようです。

私は直接この創造主と話をすることにしました。

「私たちに加えられた痛みをたどっていくと、あなたにたどり着いたのですが、あなたはどのような存在ですか。」

その創造主は、しばらく周りの様子を見渡していましたが、おもむろに口を開きました。

「私は、すべての創造主を管理するように言われましたので、その役目を担っています。」

「誰から、そのように命じられたのですか。」

「「すべての創造主を指導する創造主」様から私は指示を受け、創造主達が「すべての創造主を指導する創造主」様の意向通りに行動するように見張っています。」

創造主達に大きな動揺が生まれます。

自分達が知らないところで、このような創造主が生み出され「すべての創造主を指導する創造主」の命令に従うように、下の評議会の創造主達を管理していたことに、多くの創造主が大きな驚きと怒りを感じています。

「もうすでに「すべての創造主を指導する創造主」はこの世界にはいません。

彼の行いによって、彼自身が光の世界に返されたのです。」

「いえ、「すべての創造主を指導する創造主」様は、私たちの光と一つになられています。

創造主様は、やがて、すべての宇宙を闇で包む横暴な創造主もどきが現れるから、すべての創造主と力を合わせ、その者を倒すように言われました。

私達は、創造主様の意志をついで他の異なる宇宙の創造主達と協力して、あなた方をこの宇宙から追放しようと行動しています。」

私は、この創造主の言葉に呆気にとられてしまいました。

「横暴な創造主もどき、とは私のことですか。」と私は尋ねました。

「そうです。」

「すべての創造主を指導する創造主」様は、多様性のある豊かな世界を作ることを常に心がけ、すべての創造主に寛大で個性ある指導を行われていましたが、これから来る創造主もどきは、多様性を認めず自分の意見に従わない者たちを、光に返したり、地球の物理世界に押し込める独裁的な存在だ、とっていました。」

確かに、私達がやってきた事を見るならばそうかもしれませんが、多様性という言葉の裏で独裁的な統治を行ってきたのは、まさに「すべての創造主を指導する創造主」なのです。

しかし、彼らは「すべての創造主を指導する創造主」から生み出された子供のような存在ですので、いくら私達が行ってきた事や「すべての創造主を指導する創造主」のたくらみを話したところで聞き入れません。

自分達自身が、「すべての創造主を指導する創造主」の手足となって働いているのですから、それもいたしかたないことです。

ただこの創造主は、本来の創造主ではなく「すべての創造主を指導する創造主」が自分の支配を広げるために、各評議会に配置した創造主のひとりのようですので、このままにしておく地球のアセンションの大きな妨げとなります。

私は、第12評議会の創造主に、彼らの処理をお願いすることにしました。

私が、彼の処理を決めてしまえば、また横暴な創造主もどきと言われてしまいます。

いつも、私ばかりが悪者になっては損ですからね。

PART 2 探査役の創造主のスピリットとして生きてきた美樹

その夜、私は重くらしい夢を見ました。

それは、大切な子供をさらわれた母親が、子供を助けるためにある施設に入っていくと、そこにいた人々から捕えられてしまう夢です。

その施設には、多くの子供たちと母親が捕まっており、母親は覚せい剤を打たれて性的な暴行を受け続けています。

子供達は、まだ幼い体と純真な心を傷つけられ光を奪われています。

思い出ただけでも悲惨な光景ですが、地球の物理世界でも同じような事が行われているのです。

ピカフラッシュをはじめロッド星人や多くのスターピープル達がチームを組んで、同じ波動を持つ施設を探し始めました。

すると地球だけでなくほかの星にもたくさん同じような施設がある事がわかりました。

それは、「創造主を管理する創造主」が、ダークピープルに命じて、地球や他の星々の物理次元に近いところに作った施設でした。

この施設は、光を持った子供たちとその母親のスピリットを捕え、人々が成長しないように管理するための場所です。

そして、子供たちはダークピープルとして育てられ、彼らの部下として死ぬまで働かされます。創造主達は、「創造主を管理する創造主」がこのような施設を作っていた事に驚いています。彼らのいう多様性がいったいどのようなものであるか、創造主達にもわかってきたようです。

しかし、気になることは、子供のスピリットとつながる創造主が、私達の子供のスピリットをおとりにして、この施設に入ったようです。

私は、子供のスピリットとつながる第8評議会の探査役の創造主に向かって言いました。

「私達の子供はたとえ創造主のスピリットを持っていたとしても、まだ生まれたばかりで体も意識も成長していません。

その様な子供をおとりに使うということは、子供の生命が奪われるような大変危険な目にあうかもしれません。あなたは、そのことを理解していますか。」

探査の創造主は少し戸惑いながら答えます。

「それは十分に分かっています。

しかし、地球のアセンションを早く実現するためには、これも必要なことです。

たとえ危険であったとしても、それは地上に降りた創造主としての任務ですから。」

その言葉を聞いて、母親である美樹さんが怒っています。

彼女も小さいころから、探査役の創造主のスピリットを持って生きてきましたので、様々な創造主から勝手に利用され、危険な目にたくさんあってきたのです。

それは彼女の生命さえも奪いかねないほどの危険な任務もたくさんありましたし、彼女自身が長いこと虐待を受ける人生を歩んできたのも、そのためでした。

「創造主よ、私は、皆さんの探査のために今まで利用されてきました。

それがどれほど危険なことであったか、私はよく知っています。

私は、いくつもの危険にあいながらもここまで生きてきましたが、私と同じように、創造主のスピリットをもつ者達の多くが命を失っています。

それなのに、生まれたばかりの子供をそのような任務のために使うというのは、創造主といえどもひどすぎます。

地球のアセンションのためとはいえ、この子の命が失われたら、地球のアセンションそのものが崩壊するのだということをもっと真剣に考えてください。」

そうなのです。

地球を支配しようとする創造主やダークピープル達にとって、私達の存在は、今すぐにでも消してしまいたい存在なのです。

私達はそのために度重なるサイキック・アタックを受けてきました。

昨年秋の攻撃によって、私も急性膵炎から臓器不全症を併発して命を失うところでした。

数日前の子供の出産の時も、医者たちが創造主やダークピープルから精神をコントロールされ、美樹さんが胎盤不全に置きこまれ、手術が1時間遅れていたら、子供の命はなかったでしょう。

その様な危険な状況の中で、生まれたばかりの子供を探査に使うことはばかげています。

「探査役の創造主よ、あなたの役目もわかりますが、あなたの探査のために、光の地球の柱ともなる創造主の命が失われたら、いったいどうするのですか。

今後一切、子供を探査に使用することは禁じます。」

探査の創造主は不満げな顔をして去っていきます。

私は第8評議会の私のスピリットにつながる創造主を呼び出しました。

「創造主よ、あなたもこのような小さな子供を探査に使うことをどのように考えているのですか。

こんな危険なことはあなたからもしないように、伝えてください。」

「わかりました。

私達は、創造主一人一人の意思を尊重しますので、彼女の仕事に対して口出しをすることはあまりできないのですが、そうするようにいたしましょう。」

創造主達は、今も昔も人使いが荒いのです。

彼らは肉体を持っていないから、肉体を持っている存在のことがよく理解できないのは、あたり前ですが。

PART 3 異なる宇宙の創造主達との討議

翌日30日の明け方、子供の鳴き方がおかしいので、調べると月にも秘密基地が作られていたことが判明しました。

先日もスピリチュアル次元と物理次元に近い月から、人々の意識をコントロールするようなエネルギーが送られていることがわかり、それを撤去したばかりでしたのに、また同じような施設が作られていました。

この施設では、人々がネガティブな感情から離れる事ができないように、人々の意識をコントロールするためのエネルギーが送られていたのです。

子供は、そのようなエネルギーにとっても敏感なので、そのようなエネルギーを感知すると、すぐに泣いてしまうのです。

アセンションした後の世界でも、このような施設が次々と作られて稼働していたために、人々の意識は高まることなく停滞したままです。

そして次から次へと吹き上げてくるネガティブな感情の虜となっているのです。

いくらスターピープル達が、人々の感情エネルギーの処理をしたとしても、このような仕組みが作られていれば、人々の意識が変わらないのもあたり前です。

その翌日31日には、大変な存在達が明るみに出てきました。

子供がいつまでも泣き叫ぶので、ピカフラッシュとスターピープル達はその原因を探し出すと、思わぬところから「破壊と再生の創造主」が見つかりました。

第13評議会の創造主に来てもらい調べてもらうと、この創造主は、「創造主を管理する創造主」と同じように「すべての創造主を指導する創造主」が作り出した創造主の1人であることがわかりました。

とても荒々しいエネルギーをもち、いくつもの次元や宇宙を自由に動き回ることができる存在のようです。

彼は、この宇宙を破壊したり再生したりすることを喜びと考えているようです。

この創造主は「混乱の宇宙を作った創造主」や「感情に飲み込まれた創造主」達を作ったいくつもの宇宙を管理するために作られた創造主のようですが、この創造主そのものが破壊的でカオス的な存在のようです。

さすがに、第13評議会の創造主も、私から言われるまでもなく、この荒々しいエネルギーを見ただけで、すべての宇宙にとって不要な創造主であると判断したようです。

この創造主のゲートを開き、関わっている世界や部下の創造主、ダークピープル達などを調べた後に、この創造主を光に返すことにしました。

「破壊と再生の創造主」が光に返ると、まるで闇のとばりが切って落とされたように、光景がガラッとかわりました。

するとそこには、いくつもの異なる宇宙の創造主達が隠れていたのです。

彼らは「破壊と再生の創造主」によって作られた秘密の空間から、私達や地球にネガティブなエネルギーを送っていたのです。

私も第13評議会の創造主もこの光景に驚きました。

まさか、いくつもの宇宙の創造主達がこんなまじかな場所に隠れていたとは考えもしません。

第13評議会の創造主が、これはいったいどうしたのかと創造主の1人に問いかけます。

異なる宇宙の創造主の1人が答えます。

「私達は、「すべての創造主を指導する創造主」様から、この地球に巨大な力をもった闇の創造主が生まれるから、みんなでそれを阻止してもらいたいと懇願されたので、このようにみんなで集まって、闇の創造主が生まれてこないように攻撃したのです。

そうしなければ、私たちの宇宙が崩壊してしまうのです。

残念ながら、その子供は生まれてしまいましたが、私達は闇の創造主の働きを封じるためにエネルギーを送っています。」

周りにいた創造主達も、この創造主に同調するようにうなずきます。

ここでも私達は悪者扱いされているようです。

「すべての創造主を指導する創造主」が、私たちの動きを見て、きっと自分が行ったこともすべて明らかにされるから、他の宇宙の創造主の力を借りて、私達を封じ込めようとしたようです。

その言葉を信じた創造主達は、「破壊と再生の創造主」の手引きで、私達の宇宙に入り込み、私たちの活動を妨害し、私達の肉体とスピリットに攻撃を加えていたのです。

第13評議会の創造主が慌てて説明します。

「それは誤った情報です。

TAKESHI さんたちは第13評議会の創造主達の意向を受けて地球に降り、地球のアセンションの仕事をしているのです。

TAKESHI さんや美樹さんもそうですが、このお子さんも正式な創造主のスピリットを持って生きています。

決して皆さんが言うように、闇の創造主でもなく、皆さんの宇宙を滅ぼすものでもありません。

そればかりか、欲望に満ちて、創造主としての道を踏みはずした創造主達を光に帰し、創造主の世界を立て直しているのです。」

しかし怒りに満ちた異なる宇宙の創造主達は、そのような言葉では納得できないようです。

彼らは「すべての創造主を指導する創造主」の指示に従っており、私達に対する攻撃が正当なものだと信じています。

私が、創造主達に話しかけてみることにしました。

「偉大なる宇宙の創造主の皆さん、皆さんは「すべての創造主を指導する創造主」によって育てられた創造主の方々ですので「すべての創造主を指導する創造主」の言うことがすべて正しいと思われているのは当然のことです。

私たちのように、見たこともない地球人が大きな顔をして、偉大なる創造主達に審判を下している姿を見ると怒りたくなるのもよくわかります。

創造主とは本来、誰にも制限されることなく自由で創造性にあふれた存在です。

その様な皆さんが、自分達が行ったことをとがめられ、その処罰として光に返されたり、創造主としての資質をすべて奪われて、地球人として生きるように強要されることは、皆さんにとっても耐え難い屈辱であると私もわかっています。

しかしそうしなければならない理由があったのです。

私達は、上位の評議会の創造主達が行った事が、現実世界でどのような事を引き起こしているのか、スターピープル達や下位の評議会の創造主達がどのような状態にあるのかを詳しく調べるために、あえて地球に降り立ち、人間となってこれらのことを詳しく調べてきたのです。

どうかその記録を、美樹さんを通して見てもらえませんか、よろしくお願いします。」

私は丁寧に創造主達にお願いしました。

異なる宇宙の創造主達も、まだ私が信じられないといった顔をしていますが、美樹さんの記録を見ることには同意してくれました。

美樹さんの記憶が、まるで映画館のスクリーンのように大きく映し出されます。

地球で起きていること、ダークピープル達によって支配され抑圧されている人々の姿、闇に落ちた創造主の蜚行、闇に長いこと閉じ込められたスターピープル達や光を奪われたスターピープル達の悲惨な姿。

そして「破壊の創造主」や「混乱の宇宙を作った創造主」達の野望と他の創造主に対する愚行などが次々と映し出されます。

そして「すべての創造主を指導する創造主」の本当の姿が映像に映し出されると、集まっていた創造主達も複雑な顔をしています。

彼らは「混乱の宇宙を作った創造主」や「感情に飲み込まれた創造主」達によって作られた宇宙の創造主ですので、その創造主を生みだした「すべての創造主を指導する創造主」は、絶対的な存在なのです。

彼らにとって、「すべての創造主を指導する創造主」が、裏で創造主達を操って宇宙を混乱に陥れたということは信じがたいことです。

しかし、「すべての創造主を指導する創造主」のさらに上位にあたる第13評議会から、私達が行っていた事が正しいから、私達に対する攻撃をやめてくれといわれたら、不満があったとしても従うしかないようです。異なる宇宙の創造主達は、しづしづ自分の世界に帰っていきました。

私は、第13評議会の創造主に尋ねました。

「彼らは、私たちが言ったことに対して納得してくれたのでしょうか。」

「そうですね、彼らにとっては、創造主は何をしてもよい、という特権的な存在ですから、それを否定された事にもなりますので、きっと本心から納得はしていないでしょう。」

「彼らは、また地球のアセンションや私たちの活動を妨害しに来るのでしょうか。」

「私達もしっかり見張っていますから大丈夫でしょう。」

私は第13評議会の創造主の言葉に安心しましたが、しかし疑問が残ります。

地球はアセンションに入る時期に、他の宇宙の創造主やダークピープルが関わってくる事を禁止したはずですし、各評議会の創造主も、そのことをよく知って地球を守っているはずですが、実際は他の宇宙の創造主やダークピープル達が自由に入り込んでいる状態です。

おそらく創造主の中で、他の宇宙の創造主と深くつながっている創造主が手引きをしていたのでしょう。

そしてその最高レベルの創造主が「すべての創造主を指導する創造主」であったということが分かったのですが、本当にこれで他の宇宙との関わりがなくなるのでしょうか。

PART 4 異なる宇宙と通じ合っていた第13評議会の創造主の結末

その後も、この「破壊と再生の創造主」が行っていた事が次々と明るみに出てきました。

各評議会の創造主達に、様々なエネルギーを送って自分の指示通りに動かしていたこともあきらかになりましたし、異なる宇宙の創造主達が、私達の宇宙に関わることを手助けしていたのも、この創造主でした。

さらには、生まれたばかりの子供を使って危険な場所ばかりを探査していた創造主も、この「破壊と再生の創造主」によって使われた偽物の創造主である事がわかりました。

子供と本当にスピリットを共有していた第8評議会の創造主は、彼に捕まえられて闇の中に閉じ込められていたのです。

偽物の創造主は、生まれたばかりの子供の意識を使って、危険な場所に行っていた目的は、探査ではなく、子供のスピリットが奪われたり、創造主として成長できないように危険な目に合わせることで自分が目的だったようです。

もしかしたら、子供の命を奪うことも考えていたのではないかと思います。

私達は、「すべての創造主を指導する創造主」とその仲間達の創造主が行っていることを考えると背筋が寒くなる思いです。

翌日になると、またほかの宇宙の創造主達が私達を攻撃してきました。

「破壊と再生の創造主」もいなくなり、第13評議会の創造主達が、他の宇宙の創造主達が私達に関わらないようにしますと言ってくれたので、本来は他の宇宙の創造主が関われないようになっているはずでした。

しかし、他の宇宙の創造主達が簡単に私達の宇宙に入り込むことができたということは、13評議会の創造主の中で、異なる宇宙の創造主が私達の宇宙に入ることを手助けした創造主がいたことになります。

私をこの地球に派遣した創造主は第13評議会の創造主だと、私は思っていたので、まさか第13評議会の創造主に問題があるとは思っていませんでしたが、そうではないようです。

私は第14評議会の創造主を呼び出しました。

しかし、第14評議会の創造主は、創造主間の問題にはあまりかかわらない立場のようです。

私は困ってしまい、私を地上に遣わした最高レベルの評議会の創造主に出てきてもらうようお願いしました。

すると、第15評議会の創造主が私たちの前に現れてきてくれました。

第14評議会の創造主は、宇宙の始まりと終わりのエネルギーを生み出すことが仕事なので、創造主や具体的な創造には携わることがなく、私の期待には応えることができない立場の創造主のようです。

第15評議会の創造主とともに調べてみると、第13評議会の5人の創造主のうち3人の創造主が、他の宇宙が地球や私達の宇宙に関わることを認めており、他の宇宙の創造主が、私たちの宇宙に入り込むことを手助けしていました。

今日も、この3人の第13評議会の創造主が、異なる宇宙の創造主を手引きしたようです。

私は第15評議会の創造主の見ている前で、第13評議会の3人の創造主に問いました。

「あなた方は、昨日、他の宇宙の創造主は、私達の宇宙には入れないと約束してくれたのですが、今日も異なる宇宙の創造主が入り込んできたのはなぜですか、どのような考えでこのような事をなさっているのですか。」

すると第13評議会の創造主の1人が答えました。

「私達は、この宇宙は様々な宇宙と関わりあってこそ成長していくものだと考えています。異なる立場の創造主達がともに関わり、学びあうことで創造主も今までにない経験を得ることができます。私達はそれが非常に重要なことだと考えています。」

第13評議会の3人の創造主は、私たちの予想とは異なり、「すべての創造主を指導する創造主」と同じ考え方をしています。

表向きは、私達に協力的な態度をとっていますが、裏では「すべての創造主を指導する創造主」が行っていることや彼が生み出した新たな創造主達を容認していたようです。

そして、「破壊と再生の創造主」達が、他の宇宙の創造主達と共謀して、私たちの活動をより困難にしていたことがわかりました。

私は、この3人の創造主の誰が中心メンバーであるかを調べるために「流れを作る創造主」にお願いして、彼らの時間をさかのぼってもらいました。

すると、この3人の創造主をコントロールして、彼らの理性を失わせ、このような考えにしていた創造主が見つかりました。

それは、「すべての創造主を指導する創造主」を生み出した創造主だったのです。彼は自分が引退する前に、第13評議会の創造主達の思考力を奪い「すべての創造主を指導する創造主」の仕事が邪魔されないようにしたようです。

第15評議会の創造主も、第13評議会でこのようなことが行われていたことに驚いていました。

「このような事が起こっていたとは信じがたいことです。確かに第13評議会の創造主の中には、少しエネルギーがおかしいな、と思われる創造主もいたのですが、もともとは「全ての創造主を指導する創造主」を生み出した創造主により第13評議会の創造主達が意識をコントロールされていたために起こったことのようにです。」

そして、だまされていた第13評議会の創造主の系列の創造主も、同じように意識をコントロールされている創造主がいることがわかりました。

全評議会の創造主の中でも、宇宙を正常化する働きを持つ創造主の系列がだまされて、異なる宇宙の創造主とのゲートを開いていたのです。

正常な働きを持っている第13評議会の創造主によって、すべてのゲートは閉じられました。

私は第13評議会の創造主に、気になっていることを聞きました。

「第13評議会の創造主よ、このような事態になって私達も大きなショックを受けています。ひとつ気になることがあるのですが、以前「混乱の宇宙を作った創造主」や「感情に飲み込まれた創造主」達が作った宇宙は、どの宇宙にとっても良い影響がないので正常化すると、第13評議会の創造主の皆さんはおっしゃっていたのですが、それはきちんとできていますでしょうか。」

第13評議会の2人の創造主も同じように考えていたようです。

「私達も、そのことはずっと気になっています。
「無機質の宇宙」や「カオスの宇宙」を担当したのはあの3人の創造主でした。
今回、皆さんに攻撃を仕掛けてきた創造主の中には、これらの宇宙の創造主も含まれていたようですので、私たちがすぐに調べてきます。」
そういつて2人の創造主は消えていきました。

残された私達は、大きなため息をつきながら仲間のスターピープルと愚痴をこぼします。

「TAKESHIさん、今回のことは私達もまったく考えていなかったことです。
この次元の創造主までが、まさかこのような暴挙を働くななんて信じられません。」
「本当にそうですね、さすがに私も疲れてしまいました。
今年になって、エネルギーが切り替わり、光豊かな世界で生きていけると考えていたのですが、これでは今までの世界と少しも変わらないですね。
私も、現実世界が本当にうまくいかないのですが、それもこのレベルの創造主が私たちの活動を妨害していたら仕方がないですね。」

しばらくすると第13評議会の創造主達が戻ってきました。

「TAKESHIさん、「混乱の宇宙」は正常化されていましたが、やはり残りの宇宙はそのままでした。彼らは、これらの宇宙を、正常化することなくそのまま残していたようです。」

私は、第13評議会の3人の創造主に問いただします。

「皆さんは、「カオスの宇宙」や「無機質の宇宙」を適正な状態に正常化するといっていました、何も変わっていないのはどうしてですか、私達に嘘を言っていたのですか。」
創造主の1人が、「何を言っているんだ！」というような顔をして答えます。
「皆さんの考えでは、これらの宇宙は正常化されていないように見えるかもしれませんが、正常化というのは、その宇宙の本来持っている力を引出し、その宇宙の目的に沿って行われるものです。
「カオスの宇宙」も「無機質の宇宙」も、この宇宙の特質がしっかりと出ています。
それが宇宙の多様性を生み出すのです。」

やはり、彼等の考えは変わりそうにありませんし、これが本来の創造主の考え方なのでしょう。

私は、第15評議会の創造主に、彼らの処置をお任せすることにしました。

「第15評議会の創造主よ、彼らの考え方が私とは異なるので、私には彼らの事を処理することができません。あなたは、この創造主達の事をどのようにお考えですか。」

第15評議会の創造主は落ち着いた声で話してくれます。

「創造主の世界には、善悪の判断というものはあまりありません。」

彼らも成長の1過程であるとは言えますが、この第13評議会の創造主という立場において、このような考え方ができず、現実世界のこととも考慮せずに、他の宇宙の創造主達を導き入れたことは大きな問題があります。彼らは、現実世界に降りて、もっと多くのことを学んだほうがよいでしょう。」

「それでは、彼らを地球に下ろすのですか、」

「いえ、別に地球でなくてもかまいませんが、どこがよいですか。」

私は3人の創造主に尋ねました。

「皆さんはどうお考えですか、「カオスの宇宙」や「無機質の宇宙」の現実世界をお望みでしたらそちらでもよいと思いますが。」

3人の創造主は、あきらめたように言います。

「私達は、現実世界に降りることを望んでいるわけではありませんが、第15評議会の創造主が、そのようにしろと言われるのであれば、私達はどこにでも行きます。」

かれらは、創造主としての能力を失って光の中に消えていきました。

1人は「カオスの宇宙」1人は「無機質の宇宙」そしてもうひとは「混乱の宇宙」へと生まれ変わっていきました。

彼らも物理世界のことをしっかり学んで、成長してくれるとよいのですが、どうなることでしょうか。

PART 6 ブラック・クリスタルと「全ての創造主を育てる創造主」の罫

私達は、第13評議会の創造主達が、物理世界に降りていくのを見届けると、彼らによって荒らされてしまった宇宙に光をもたらすために、第15評議会の創造主に、光を降ろしてもらうようお願いしました。

第15評議会の創造主は、私たちの願いを快く引き受けてくださり、第13評議会から順番に光を降ろしてくださいました。

その光は、とても荘厳な光です。

私達は、この光を各創造主が受け取ることで、自分達の中にある迷いや不安を取り除き、再び同じ宇宙の創造主として団結して宇宙を運営していけるように共に祈ります。

もちろん第15評議会の創造主の光は、各評議会をとおって地球の物理世界にも流れ込んできます。

すると、今まで第13評議会の創造主達によって隠されていたいくつもの問題が浮上してきました。

第15評議会の創造主の光には、第13評議会の創造主達もかきませんので、彼らが今迄に仕組んでいた悪事が明らかになってきました。

その一つが、光が多い世界に来た人々のスピリットの中に埋め込まれたブラック・クリスタルです。

このクリスタルは、人々にネガティブな感情を植え付ける働きをもっています。

ブラック・クリスタルは、私の中にも埋め込まれ、私の中にネガティブな感情のエネルギーを送り込んでいました。

そのおかげで、私の会社の経営がうまくいかず、会社が倒産して自分も破産するという考えに、このところ悩まされていたのです。

「ピカフラッシュ、ロッド星人、このブラック・クリスタルがどこにつながっているか、調べてください。」

ピカフラッシュは、ブラック・クリスタルのエネルギーを伝えていくと、そこはとても大きなネガティブな感情の渦です。

「TAKESHI さん、これは天の川銀河全体のネガティブな感情のエネルギーです。

天の川銀河の宇宙自体が持つエネルギーの塊ですので、こことつながるということは、とても大きなネガティブなエネルギーが、その人を通して地球上に発散されていくことになります。

これでは、私達がいくら人々の感情の発散をしたとしても、なかなか終わらないのも当たり前です。」

私達はさらにこのブラック・クリスタルのことを調べると、このクリスタルは、「破壊と再生の創造主」が、しばらく前に、物理世界の人々に取り付けていた事がわかりました。

そして、それは人々だけでなく地球のいたるところにも埋め込まれているようです。

私は、第15評議会の創造主にこの現状を報告しました。

「第15評議会の創造主よ、このような大きなネガティブなエネルギーと地球の人々を結びつけるということが許されていいのでしょうか。

これでは、私たちのアセンションも一向に進みません。」

「確かに、これはルール違反です。

彼らがこのような物理世界の細かいところまで様々な仕掛けをしているとは思いませんでした。

私たちの光を、物理次元の創造主達に託しますので、その光でブラック・クリスタルを無効にしてください。」

このブラック・クリスタルは、光59%の世界だけでなく光51%以上の世界の人々にもつけられているようです。

スターピープルと第1評議会の創造主達は、一つになって物理次元の浄化を行い、ブラック・クリスタルを消滅させていきます。

かわいそうなスターピープル達は、また大変な仕事を背負わされることになったようです。

次の日の明け方、私達は、何か異常な雰囲気を感じて目を覚ましました。

美樹さんに、私のエネルギーを見てもらうと、黒い渦のようなエネルギーに、私のスピリットが取り囲まれている様子が見えてきます。

スターピープル達も呼び出して調べると、私のスピリットの一部が光40%台の世界にとらわれ、その世界の創造主達から試練を受けているところでした。

そして、そこには私だけでなく、たくさんの光を持った人々のスピリットが捕えられているのです。

私はそこにいた光40%台の世界を担当する創造主に尋ねました。

「あなた方は、光の多い人々のスピリットを捕えていったい何をしていますのですか。

これは許しがたいことですよ。」

私の怒りに満ちた言葉を聞いて驚いたのは創造主達のようにです。

「私達は、人々に試練を与えることが仕事の創造主です。

これらのスピリットは、私達が捕えたのではなく、高次の創造主様から、人々を成長させるために試練を与えてほしい、と言われたので、私達が預かり、ここで試練を与えています。

なにか、問題がありましたでしょうか。」

彼らの話を聞くと、「全ての創造主を育てる創造主」の部下の創造主が私達のスピリットを捕え、ここに連れてきたようです。

そして、その様子が他の創造主や私達にわからないように、「全ての創造主を育てる創造主」と第13評議会の創造主達が特別な力を使って隠していたようです。

これは、地球がアセンションを迎え、世界が分離される以前に行ったようです。

「全ての創造主を育てる創造主」が光に返り、第13評議会の創造主達が創造主としての力を失ったことで、初めて彼らが行ったことが明るみに出てきました。

私達は、光40%台の創造主達に、これは正当な指令ではなく「全ての創造主を育てる創造主」が地球のアセンションを妨害するために行ったことであることを伝えました。

彼らも、私達の後ろに、第13評議会の創造主達や第15評議会の創造主がいることに納得して、捕えられていたスピリット達をすべて解放してくれました。

そこには私だけでなく美樹さんや私達の子供のスピリットも捕まっていました。

「全ての創造主を育てる創造主」とその部下の創造主は、アセンションした世界の人々にブラック・クリスタルを入れてネガティブなエネルギーを送り込むだけでなく、スピリットの一部を光40%台の世界に閉じ込めることによって、地球のアセンションを完全に失敗させようとしていたようです。

もう、幾重にも張り巡らされた創造主達の罠に、私達もうんざりしています。

私は、第15評議会の創造主に話しかけます。

「創造主よ、なぜ彼らは、ここまでして地球のアセンションを邪魔するのでしょうか。

それほどまでに、この地球のアセンションは大きな意味を持っているのでしょうか、

私達は、もう理解できません。」

「TAKESHIさん、皆さんが嘆かれるのも仕方がないことですが、地球の人々がアセンションして光の地球を作るということは、この宇宙に新たなバランスをもたらすことになるのです。

それは、今までの闇が多かった宇宙に新たな光を増やし、理想的な宇宙を創る事に大きく貢献します。

そして、皆さんの宇宙が光が多い宇宙に移り変わると、他の宇宙にも新たな光のバランスが生まれてくると思っています。」

私達は第13評議会の残った2人の創造主に聞きました。

「第13評議会は、あなた方2人になりましたが、これでよかったのですか。」

「もちろんです。

私達も、第15評議会の創造主様の考え通りに、この宇宙を運営したいと考えておりましたが、他の3人の創造主と意見が合わずに苦労していました。

これで、私達も第15評議会の創造主様とともに、しっかりと創造主達を見守り、いくつもの宇宙をより良い方向に導くことができます。

これも TAKESHI さんたちのおかげです。ありがとうございました。」

第13評議会の残された創造主達はすっきりとした顔をして微笑んでいます。

きっと長い間、創造主同士の確執に悩まされていたのだと思います。

私は、第15評議会の創造主に呼びかけます

「第15評議会の創造主よ、私をこの地球に降ろされた最高レベルの創造主はあなたであるということですが、第13評議会の創造主まで、地上に降りることになりました。

この結果をどのようにお考えですか。」

「私達は、結果に対してこだわっているわけではありません。
創造主達にしても、あなた達にしても、必要な事が起こり、大切な学びを得られたという意味では大変良かったと思っています。
このことによって、地球をはじめ多くの宇宙がさらに良い方向に変わってくることでしょう。
しかし、あなた方は本当に良くやってくれたと感謝しています。
あなたや美樹さんを地上に降ろす事は、私達にとっても大変な決断が必要な事でしたが、あなた方が立派に任務を果たしてくれたことに、私達は大きな喜びを感じています。
ただ、皆さんの仕事はまだこれからも続きます。
地球はアセンションしたとはいえ、まだ何も変わっていません。
あなた方は、地球を闇の多い世界と光の多い世界を分離し、アセンションした世界を作りあげました。
これからは、光が多い世界に来た人々を立派に成長させ、1人でも多くの人々を光の地球へつれて行ってください。」

第7章 新たなアセンションに向けて

PART 1 異なる宇宙とのゲートを開いていた創造主

私達は、異なる宇宙の創造主と先日、話し合いを行い「全ての創造主を指導する創造主」の過ちを明らかにして私達への攻撃を行わないように伝えました。

その時集まっていた創造主達は、第13評議会および第15評議会の創造主からそのように言われたことで、しびしび納得して帰っていきましたが、「全ての創造主を指導する創造主」や「感情に飲み込まれた創造主」によって作られた宇宙の創造主は、やはり彼らと同じ考え方をしているので、本心から納得していないようです。

第15評議会の創造主は、これらの宇宙のリーダーを集めて、まだ私達に対して反抗的な創造主に対してしっかりと説明をおこない、行方が分からない創造主を見つけ出すように指示を出しているようですが、なかなかうまくいかないようです。

基本的に、創造主は自由で独自性を持つ存在なので、自分たちの考え方を貫き通します。

しかし、第15評議会の創造主は、そのことの弊害をすでに問題視しており、地球のアセンションとともに、それらの創造主の考え方を変えてもらおうとしているのですが、やはり創造主達の考え方を変えるのはまだ困難があるようです。

そのような時、私達にもまた大きなサイキック・アタックが起こってきました。

第15評議会の創造主や第13評議会の創造主達が守ってくれたので、その痛みはさほど大きなものではありませんでしたが、サイキック・アタックを行ってきた創造主達は、1人や2人ではなく、多くの創造主達が関わってきているようです。

私達は、この創造主達がどこからこの地球にはいつて来たのか調べることにしました。

私達の宇宙は、他の宇宙の創造主が自由に入り込めないようにしてあるのですが、彼らはどこから入ってくるのか、私には不思議です。

もしかしたら、他の宇宙とのゲートを開く役目の創造主がどこかに隠れているかもしれません。

私達は、1人の創造主を捕まえて、彼らがどこから来たのか調べることにしました。

すると、私達の宇宙と他の宇宙のゲートをつないでいた創造主が見つかりました。

この創造主を捕まえて調べると、やはり「全ての創造主を育てる創造主」の部下の一人でした。

この創造主は、第13評議会からも守られていたおかげで、高次元の創造主達であっても彼を発見することができませんでした。

そして、他の宇宙の創造主が、私達の宇宙に入ることができるようにゲートを開き続けていたのです。

しかも、この創造主は、時を操ることができる創造主で、いくつもの時間軸をつかって多彩な宇宙とのゲートを開いていたようです。

私達は、この創造主がほかに行ったことが無いのか調べる為に、この創造主に関わるゲートを開きました。

すると大変な場所がまた見つかりました。

それは、とても優秀なスターピープル達が捕えられている場所です。

私はロッド星人やグルナレッドに、ここに捕えられているスターピープルのことを知っているか聞きました。

「TAKESHI さん、彼らはとても愛の度数が高いスターピープルです。

しかも、私など足元にも及ばないほどの偉大で大きな力を持っています。

おそらく、かなり高次の創造主によって、地球に派遣されてきたのではないかと思います。」

私は、高次元の創造主に、このスターピープルのことを尋ねました。

すると第11評議会の創造主の一人が、すぐにやってきてくれました。

「ここにいたのですか、彼らは、私の宇宙のスターピープルなのですが、地球が他の宇宙のダークピープル達に攻撃されていることを心配して、私の宇宙から、特別に高い能力を持ったスターピープル達を地球に派遣したのですが、まだ地球についていないので心配していたのです。」

私はこの創造主に尋ねました。

「それはありがとうございます。」

しかし、彼らが捕まえられたということは、この計画を第13評議会の創造主に話をしましたか。」

「いえ、相談はしていませんが、私達が行うことは、彼らには全てお見通しなので、きっとスターピープル達が入ってくる場所に罠を仕掛けていたのでしょう、非常に残念なことです。」

私達はこの場所に閉じ込められていたスターピープルたちを救出する事にしました。

この場所に閉じ込められていたスターピープルは、とても高い科学力や多彩な能力を持ったスターピープルです。

そして、ダークピープルを探し出し捕まえる事や彼らによって引き起こされた問題を解決する事を得意としているようです。

まるでロッド星人やグルナレッドと同じような特質をもったスターピープル達です。

彼らの事を、私達は「ブルラレッド」と呼び、共に活動していく事にしました。

私は、ブルラレッドに、他にも閉じ込められているスターピープルがいないか尋ねました。

「私達と共に来た種族達がすべて捕まっているとしたら、あと4種族のスターピープルたちがいるはずですよ。一緒に探してもらえますか。」

「もちろんです。」

私達は、皆さんが私達の宇宙に来て下さった事に深く感謝しています。

私達にとって皆さんは大切な仲間ですのですぐに見つけましょう。」

私はピカフラッシュをお願いしてすぐに、探索にかかりましたが、いつものように上手く行きません。

その様子を見てブルナレッドが言いました。

「この創造主は時を操る創造主ですので、空間の中では無く、時間の渦の中にスターピープルたちを隠している可能性がありますので、時間の中を探してもらえますか。」

私は、第16評議会の「すべての時を生み出す創造主」をお呼びしてお願いする事にしました。

「「すべての時を生み出す創造主」よ、私達の大切な仲間が、時間の渦の中に隠されているようです。

あなたの力で、隠された時を全て明るみにだし、私たちの仲間を見つける手助けをして下さい。」

「すべての時を生み出す創造主」は、快く承諾して下さい、時の流れを正常化して下さいました。」

すると、いくつものねじれた時間の流れが、美しい水の流れのようにまっすぐに流れ始めました。そして、その中からいくつかの場所が浮かび上がり、閉じ込められていたスターピープルたちが現われてきました。

最初にあらわれたスターピープルは、人間や物理的な肉体を持ったスターピープル達の治療を得意とするスターピープルです。

彼らは透き通った透明の体をしていて、人の体の中にスーッと入り込み、神経組織やエネルギーの異常などを治していくようです。

丁度その時、地球に入り込んでいたダークピープルの攻撃により、ブラッド星人を始め多くのスターピープル達が負傷したとの連絡が入ってきていましたので、彼らにすぐに治療に行ってもらいました。

ダークピープルの攻撃によって傷ついたスターピープル達にとって、これは大変嬉しい事でした。

彼らは、スターピープルの中に入り込み、彼等の傷をどんどん治していっています。

次に現れたのは、美しいフェアリーのようなスターピープルです。

彼らは傷ついた地球の環境や生命を癒す働きを持っているようです。

そして海の生物たちを癒し助けるスターピープル達も捕えられていました。

特にイルカやクジラ、そして多くの魚たちのエネルギーを正常なものに戻す働きを持つスターピープルです。

彼等は、地球と私達の宇宙に住む多くの生命達の為に働いてくれる事になりました。

そして最後にあらわれたのは、地球人の深い精神的な苦しみや自分自身ではどうしようもない感情を癒すことができるスターピープルです。

地球のアセンションにかかわっているスターピープル達が、地球人の感情の処理に大変苦慮している様子を見て、助けに来てくれたようです。

ロッド星人もアシュタールのエレナさんも、とても高い能力を持ちながらも、物理次元の処理もできるスターピープル達が来てくれた事を大変喜んでいます。

自分達が、今まで苦勞してきた事を、さらに高い能力で彼等は処理する事が出来るようです。

これで、自分達の宇宙だけでなく異なる宇宙から来た創造主やダークピープル達によって荒らされた地球も回復していくことでしょう。

そして大幅に遅れてしまった地球のアセンションもこれで順調に進んでいくことでしょう。

PART 2 新たなアセンションに向けて

この一連の出来事を見て、第15評議会の創造主は、宇宙のみならず創造主を管理する立場にある創造主達が行っていた事に、あきれてしまっています。

「全ての創造主を育てる創造主」だけでなく第13評議会の創造主までもが一つになって、この地球と宇宙のアセンションを妨害しようとしていたのですから。

私達は、この時を操る事ができる創造主をすぐに光に帰し、他の宇宙とつながっていたすべてのゲートを閉じていきました。

私は第15評議会の創造主に、すでに地球に入り込んでいる創造主達をどうにかする方法がないか相談しました。

「TAKESHIさん、私達は、各宇宙の創造主のリーダーと話をして、創造主達が理性を取り戻してくれることを願っているのですが、少し時間はかかりそうです。

かといって彼らを一方的に処罰することもできません。

私達は、他の宇宙のリーダーとともに、自分達の宇宙からいなくなった創造主が、地球にきている可能性もあるので、それらの創造主を探し出しています。」

「それでは、第15評議会の創造主よ、この地球や、私達の宇宙を閉鎖して、彼らの宇宙と関わることをないようにしたらどうでしょうか。

もともと、一つの宇宙に他の宇宙の創造主達が関わるのはルール違反ですので、私達の宇宙のアセンションが、なるべく他の宇宙に影響しないように、この地球と私達の宇宙を閉鎖してしまうのです。

そうしたら、彼らも少しは安心するでしょう。

そして、私達の宇宙が彼らの宇宙とも切り離されると他の宇宙の創造主達も自分達の宇宙に帰ることができなくなりますので、きっと帰っていくことでしょう。

もし私達の宇宙に不法に残っていたら、それは罰せられることにしましょう。」

第15評議会と第13評議会の創造主は、しばらく相談しているようです。

「TAKESHIさん、分かりました。

もともと、このアセンションが始まった段階で、地球は他の宇宙に対して開いていたゲートをすべて閉じることを決定していました。

その決定に反して、許可なくゲートを開いたのは、いくら高次の創造主であったとしても間違いです。

私達、第15評議会の創造主の権限で、皆さんの宇宙を閉鎖して、他の宇宙の創造主が関われないようにしましょう。」

第15評議会の創造主はそのように言うと、各評議会の創造主達に向けて、私達の宇宙が間もなく閉鎖されるために、他の宇宙の創造主達は、すぐに私達の宇宙から退去するように伝えました。

その指令は、私達の宇宙の創造主のみだけでなく他の宇宙の創造主達にも広く知らされることとなりますので、異なる宇宙の創造主達も、慌てて帰っていく事になるでしょう。

もし、この命令に背いて、地球や私達の宇宙に残っていたなら、彼らは、強制的に退去させられるか光に返されることとなります。

しばらくすると、地球の様々な場所から、創造主達が自分達の宇宙に帰っていく様子が見えます。

いくつもの光が、地球から外の世界に、次々と飛びだしていきます。

しかし、第15評議会の創造主はその数の多さにため息をついています。

「こんなにたくさんの創造主達が、他の宇宙から地球にきていたのですね。

これは一つ間違えば、いくつもの宇宙を巻き込んだ「創造主戦争」が起こるところでした。

そうなれば、いくつもの宇宙が破壊されて、スターピープルや人間はもちろん、数多くの生命達も犠牲になっていたことでしょう。

私達が計画していたアセンションは創造主の立て直しを最終的な目的としていましたので、その目的が達せられるどころか、多くの創造主達の生命を失うところでした。

皆さんには、本当にご迷惑をかけて申し訳ありませんでしたが、これで地球のアセンションもスムーズに進行することでしょう。」

私達の宇宙から他の宇宙の創造主達が撤退することで、私達の宇宙も物理世界の問題が多少残ったとしても、今迄よりは、はるかに平穏な日々を迎えることができそうです。
そして新たにサポートにきてくれたスターピープル達のおかげで、地球のアセンションや人々の感情開放と癒しも、今迄よりも速やかに行なう事ができるようになりました。
私達の中にも、少しばかりの安堵感が広がります。

しかしながら異なる宇宙の創造主達の出現により、地球のアセンションも大きく予定が狂ってしまいましたので、第15評議会の創造主を中心に新たな計画が作られているようです。
これから先は、また新たなシリーズとしてご紹介することになります。

光りの世界の区分（極秘事項）

○光りの世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に応じていくつもの地球に分かれていることをお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界のようなようです。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなりますが、まだ学びが必要な人には、その学びにふさわしいことが起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つけることではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切なことは、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きるようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

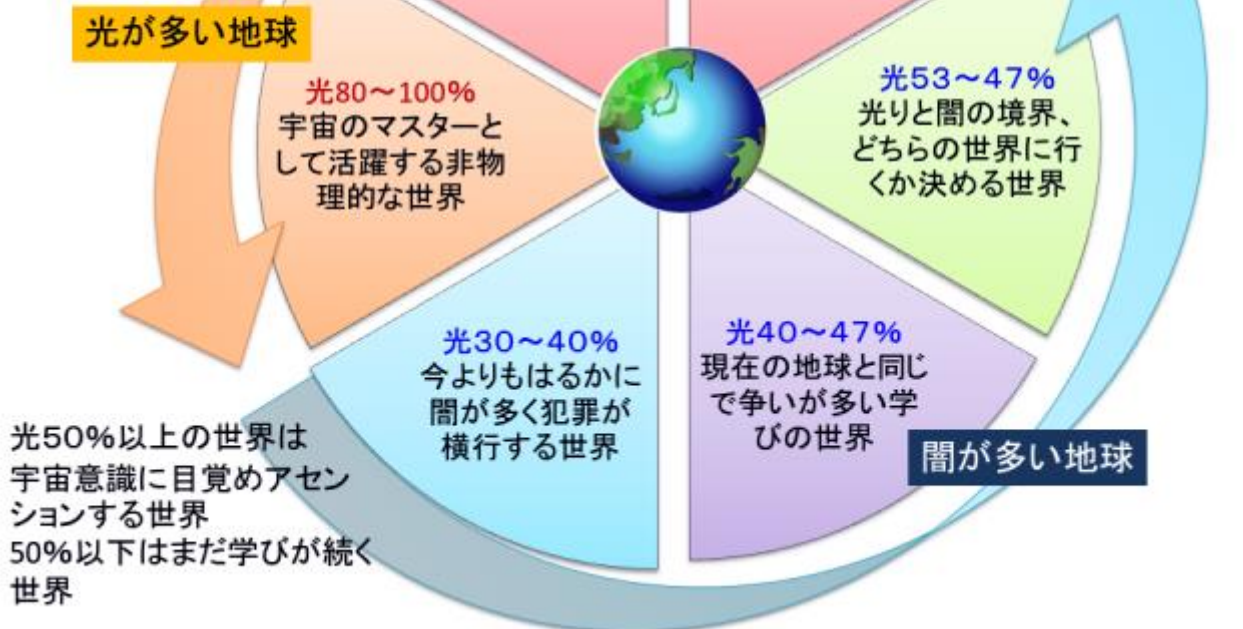
生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始めることでしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこのことは、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。

人間は自分の心の光の状態に応じていく世界が決まります。
 学びが多い世界も愛と調和に満ちた世界も、全てあなたのために必要な世界です。



光50%以上の世界は宇宙意識に目覚めアセンションする世界
 50%以下はまだ学びが続く世界

<p>光90%台の世界 宇宙のマスターの世界</p>	<p>宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。 憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学びを行う世界。 自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80%台の世界 宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュアルな領域に生きる人々。 自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働くことを喜びとしているスピリット達。 ここに入る人は、宇宙で起きていることを深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。 地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由で平和な者にするために常に努力してきた人々。 この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人たち。 人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70%台の世界 物理的な光の地球での指導者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。 またスターピープルのことを深く知り、彼らと共に働ける人。 自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人</p>

	<p>地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失った後に行く世界。 現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人たちが光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。 60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来ることが多いようです。</p>
<p>光60%台の世界 地球では光の世界として新しく生まれた世界。 宇宙意識に目覚めるための世界</p>	<p>60%台の後半の人は・・・ 常に正義と愛のために生きてきた人。 欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。 スターピープルのことを理解し上手に付き合うことができる人 この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をもって学びを行う人たちが入る世界。 少数民族の人たちの仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。 ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・ 光の世界にはいる為の教育が行われる世界。 地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。 しっかりと愛や調和を目指して生きてきたが、まだ十分に実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。 周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。 この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。</p>
<p>光56%～59%の世界 光が多い学びの世界</p>	<p>この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。 今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。 この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人達です。 そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。 この世界の学びは「愛の実践」です。 宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕することがこの世界の学びとなります。 この世界で学びを終わった人は、本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。</p> <p>強い欲望や支配欲を持った人や人と争うことが好きな人は入れません。 人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。</p>

<p>光 5 1 % ~ 5 5 % の世界 光と闇の境界の世 界 光の度合いはイラ ストとことなりま すが、こちらの度合 いが最新です</p>	<p>ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などはすこしずつ減ります。時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。</p> <p>この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達です。</p> <p>また他人のために役に立ちたいと思い行動している人や他人に親切にすることが好きな人達がこの世界に入ってきます。</p> <p>ただしこの世界には、狡猾な地球外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様なことを乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。</p> <p>ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行くこととなります。</p>
<p>光 4 0 % ~ 5 0 % の世界 現在の地 球と同じ学びの世 界 光の度合いはイラ ストとことなりま すが、こちらの度合 いが最新です</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験することとなります。</p> <p>現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をした人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。</p> <p>他人を支配をしようと思う人、他人に依存したり、他人支配されることを好む人もこの世界にとどまります。</p> <p>この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配をうけず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。</p>
<p>光 3 0 % 台の世界 闇が多い学びの世 界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況がはるかに悪くなります。戦争やテロが多発し、多くの人々が争いや原発事故、自然災害に巻き込まれ苦難の多い人生を送ることになるでしょう。</p> <p>そして人々はその中で多くの事を学び目覚めていくための機会を待つことになると思います。</p> <p>この世界には、多くの欲望に取り付かれ、他人を支配したり傷つけることを好んで行ってきた人たちがいく世界になると思います。</p>